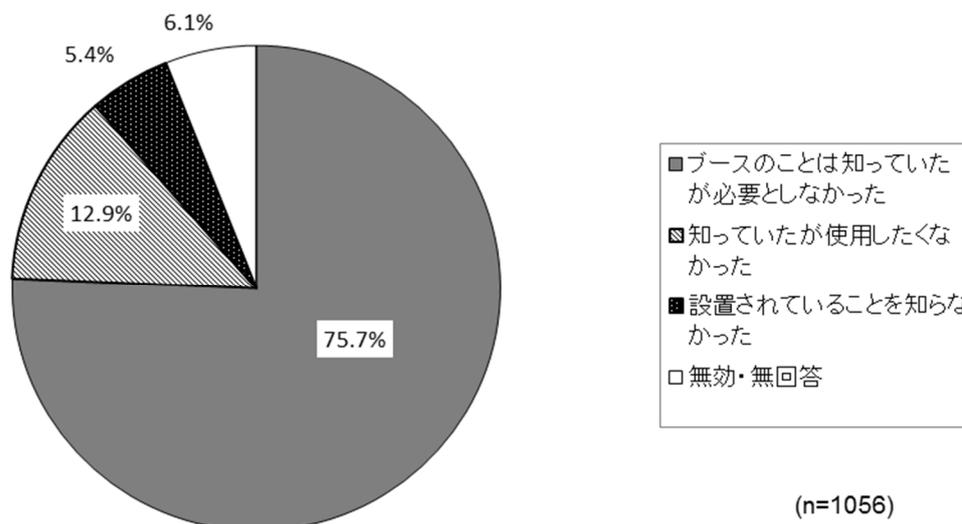


② 利用しなかった理由

- ・上記設問で携帯用トイレブースを「利用しなかった」と回答した利用者を対象に理由を尋ねたところ、「ブースのことは知っていたが必要としなかった」が75.7%、「知っていたが使用しなくなかった」は12.9%、「設置されていることを知らなかった」は5.4%である。

図表 41 携帯用トイレブース非利用の理由



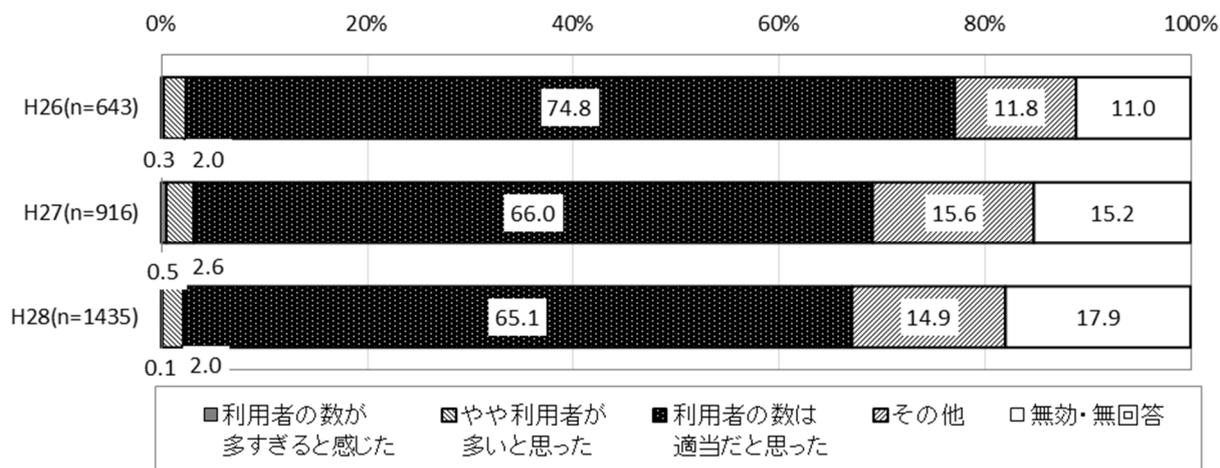
図表 42 携帯用トイレブースに関する自由記述（抜粋）

非利用理由	自由記述
知っていたが必要としなかった	行程上、また地理的にちょうどいいところに設置されていると感じています（ました）。
	コースの後半にあると助かる。
	出来れば使いたくないけど、緊急を要する時は、使うと思う。今回どういう使い方が分かったことは良かった。
	日本では、水、トイレなど無料に慣れてしまっているが、自然保護、環境保護、施設・整備・管理料として、有料の意識を持てるようにアピールして行って欲しい。駐車場のトイレも「有料」をアピールすべきです。ティッシュはゴミ箱へ！も。
	使用しませんでした、あるといざという時に安心して親切だなと思いました。自然にとっても、この程度であれば良いのでは。
	ブース使用された方によると尿をするとすぐしぼんできて、こぼれずに出来るか心配した。
知っていたが使用しなくなかった	先に、トイレブースに入った女性が、「ここでトイレをするのは難しい」と言って出てきたので、それを見てやめました。自分でためしてないので、どこがどう難しかったのかはわかりません。
	中に虫（コマバエ？）がたくさんいて入れなかった。
	使用しなくなかったので、我慢しました。持参して帰る事に、抵抗がありますので、その点を改善してほしいです。
	水分補給により、トイレの回数が多くなるので、何か所もあるとよい。
	抵抗があり、極力水分を控えた。袋を持っている方々の出入りを見て、益々やめようと思った。
設置されていることを知らなかった	安心できるので継続してほしい。
	排泄物の持ち歩きに抵抗感強い、また女性にとってはなおさら苦痛だろうと思う。やはりきちんとした設備が欲しい。使用料が高くてよい。
	緊急用として必要。
	出発する前、レクチャー後そのような施設がある事を伝えていただきたい。あと場所もおしえて下さい。

(2) 利用時における混雑度の印象 [SA]

- 西大台利用調整地区のルート歩いた際の混雑感については、「利用者の数は適当だと思った」(65.1%)が最多であった。

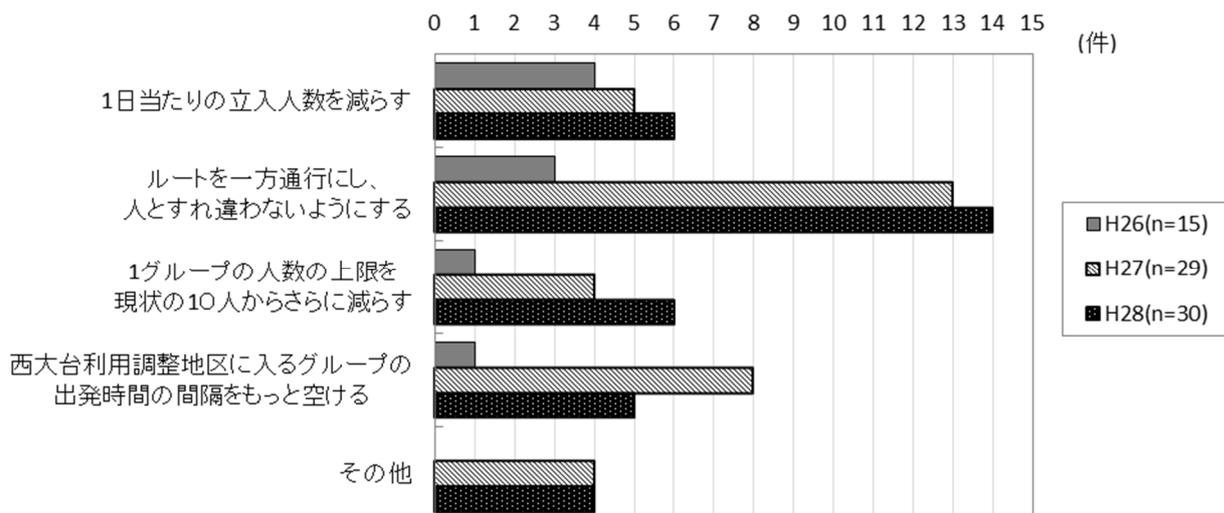
図表 43 利用時における混雑度の印象



(3) 混雑対策に対する意見 [SA]

- 次いで「利用者の数が多すぎると思った」あるいは「やや利用者が多いと思った」と回答した利用者 (n=30) を対象に、混雑を感じないようにするための対策を尋ねたところ、「ルートを一方通行にし、人とすれ違わないようにする」が最多である (14名)。

図表 44 混雑対策



(4) 西大台利用調整地区の利用時に期待していたもの及び感想 [FA]

- ・西大台利用調整地区への来訪にあたり、何に期待して来られたか、感想として期待どおりだったのかどうか、それぞれ自由記述で尋ねた。どちらから一方でも記入があった内容を以下の表にまとめた。期待していたものは「自然」が最も多く(201件)、「景色、景観」(148件)、「コケ」(90件)と続く。感想は「良かった、満足」(395件)、「期待以上、期待どおり」(308件)が多いが、「期待と違った、残念」(163件)との意見も一定数みられた。

図表 45 期待していたものと感想 (実数)

順位	期待していたもの	感想							計
		期待どおり	期待以上、期待どおり	良かった、満足	まずまず	残念	期待と違った、	両評価	
1	自然	74	69	3	19	10	11	15	201
2	景色、景観	45	51	4	27	8	4	9	148
3	コケ	25	29		15	12	3	6	90
4	原生的な・手つかずの自然	28	34	1	12	4	3	5	87
5	紅葉	12	28		25	12	1	2	80
6	森林浴、自然散策	16	24		8	5	2	8	63
7	原生林	12	23		9	6	4	1	55
8	登山、トレッキング	16	27	1	2	3	1	3	53
9	利用調整への興味	15	21		2	6	4	2	50
10	静けさ、人の少なさ	21	14		2	6	2	1	46
11	植生、植物、樹木	6	10	1	10	5	2	6	40
12	東大台との違い	9	13		1	4	1	3	31
13	神秘的・幻想的な雰囲気	6	5		6	2	1		20
14	動植物、生物	5	4		7			1	17
14	気分転換、癒し	7	6		1	2		1	17
16	動物(シカ、ウサギなど)	1	1		7	1		3	13
17	ブナ林	4			1	2			7
18	野鳥	1	2	1	1	1			6
	その他	2	20		5	1	5	6	39
	記載なし	3	14		3	3	2		25
	計	308	395	11	163	93	46	72	1088

図表 46 期待していたものと感想に関する自由記述（抜粋）

評価	項目	期待したもの	感想
期待以上、期待どおり	自然	自然の雄大さ。	期待以上の感動と過酷さがありました。
		大台ヶ原の自然。	期待どおり、自然が守られていた。今度は雨の日に来たい。
	景色、景観	自然の景観	期待以上に美しかった。苔の群生が特に。
		・自然の豊かな景観。・おいしい空気。	・くもり空だったのですが、静かで人も少なく落ち着いて散策できたので期待どおりでした。
	コケ	コケの探索の為と自然探索。	十分期待通りでそれ以上だった。コケが思った以上に多かった。
	原生的な・手つかずの自然	原生的で豊かな自然を楽しむため。	期待どおりだった。静寂で自然の豊かさを感じることが出来た。
	紅葉	紅葉を期待して来ました。	期待どおりではなく期待以上のものになりました。原生林や紅葉やふだん目の届かない自然の発見があり、本当に貴重な場所にいるんだと感動と感謝の気持ちでいっぱいになりました。
	森林浴、自然散策	中に入ったら気持ち良いだろうという期待。	期待通り、気持ち良かった。ぶな林がうれしかった。森の中に居るといった感じが良かった。
	原生林	原生林に近い状態で保全されている森の散策。	様々な場所を見てきたが、これほど湿潤で豊かな森の生態系が維持されているところは、めずらしい。期待どおりだった。
	登山、トレッキング	豊かな自然が残されていて、気持ちの良いトレッキングが出来ること。	素晴らしい緑と景観、美しい水と空気など期待どおりの散策・トレッキングができて大変満足している。
	利用調整地区への興味	利用調整区域に指定されている中での自然や生物の生態を見てみたいと参加しました。	東大台とは全く異なる自然環境におどろくとともに自然を守るために利用調整地区になっていることを改めて感じさせられ、期待どおりでした。
	静けさ、人の少なさ	自然のままの森の中を限られた人数しか入れないのでゆっくり回れることを期待していました。	想像以上にとてもいい状態で苔も沢山あって、とても癒される森の中をゆっくり歩いて、ほんとうに良かったです。なかなか見れない植物も見れました。何年も経って、森がゆっくりと変わっていくところが見れた感じがしました。非日常的な空間がとても良かったです。
	植生、植物、樹木	自然を満喫して、色々な植物(特に広葉樹、針葉樹)を見たかった。	期待以上に美しく、コケのきれいさ、また、開拓跡を過ぎて、川を渡った先の、兩岸の樹木の美しさが最高であった。
	東大台との違い	東大台と違う印象の、しっとりとした森林の魅力。	期待どおりだった。思っていた以上にバラエティに富んでいて、水場や苔、森林と表情が変わり、ゆったりと景色と、森林浴を楽しめた。ポイントの水色の目印が心強かった。
	神秘的・幻想的な雰囲気	幽玄の世界を期待して	期待どおり。人の出会いはなく、苔むした景色。
	気分転換、癒し	自然。リフレッシュ。無心になれる場。	期待以上に、良かったです。あの“苔”がほんとうに美しく、マイナスイオンたっぷりの中をウォーキングし、自然の素晴らしさを実感しました。大切に守っていかねばならないことも納得です!!
	ブナ林	ブナの自然林	期待通りだった。木漏れ日もきれいだった。

た、良 満 足 か っ	自然	自然	素晴らしかった。植物・動物観察も出来、自然を満喫出来た。
		自然のすばらしさ。	たいへん満足した。木々やコケ、空気、水、石、全体に満足した。
	景色、景観	風景	何度か経験しているが、その都度ちがう風景に出会える。
	コケ	苔を見るため。	美しかったです。前日に東大台ヶ原をまわって、ほとんどなかったのが、がっかりした後だったので、とても良かったです。
	原生的な・手つかずの自然	自然がそのまま残っている姿を期待していた。	西大台に流れている川を石づたいに気を付けて足を置く位置を考えたりして渡った時、人間の為に工夫したものを設置しないのが良いなあと思った。
	紅葉	秋には少し早いとは思いましたが、秋色を感じる事ができるかなと思いました。	深い緑と、所々に見えた紅がきれいでした。
	原生林	苔むした原生林を見たいと思い来ました。	小雨の中、霧に包まれた原生林はすばらしかったです。
	登山、トレッキング	東大台だけだと物足りなかつたので、トータル登山タイムを増やそうと思って来ました。	晴天に恵まれたのもあり、めちゃ良かったです！！木・川・全てが良かったです。気持ちよい山行でした。
	利用調整地区への興味	利用調整が始まって10年弱でどのような効果や課題があったのか知りたかつた。	環境へのインパクトを軽減させるために必要な対策とっていたので、その効果はあったと感じた。他にも人のいないなかで森を観察できるぜいたくを感じた。
		自然のありのままを感じることができること。事前に申請をしないと入れないところに特別なものを感じました。	これまで登った山とは雰囲気異なり静かで心が休まる経験ができたから。
	静けさ、人の少なさ	野鳥観察と登山を趣味にしているが、平日で静寂さを感じながら散策できることに期待した。	人が少なく、野鳥の声もよく聞こえたから。
	植生、植物、樹木	植物や風景	様々な植物が見れ、満足した。
	東大台との違い	東ルートと違った西大台ルートを歩いてみたかった。	苔むして淘汰されていく大木や、沢づたいの道、そこに生息する魚たちが見られて、楽しかった。他の山と違い、野性的、かつ神秘的な大台ヶ原は好きです。
	神秘的・幻想的な雰囲気	一番神秘的な印象をもっている場所です。その空気、景色を味わいたかつた。	ガスっていて見えなかつたが、晴れ間がのぞいたときとてもきれいでした。
	動植物、生物	生物の多様性が残る自然の姿を求めて。	樹木の種類の多様性に感動しました。
	気分転換、癒し	・気分のリフレッシュ。・適度な運動。	落葉に道が覆われていて、歩くのがとても楽しかったです。
まずまず	景色、景観	他では見られない風景・自然	まずまず。
	原生的な・手つかずの自然	・ありのままの自然(?)・動植物との出会い・静かな山歩き	まあまあと思います。(動物にはあまり出会わなかつたです。)

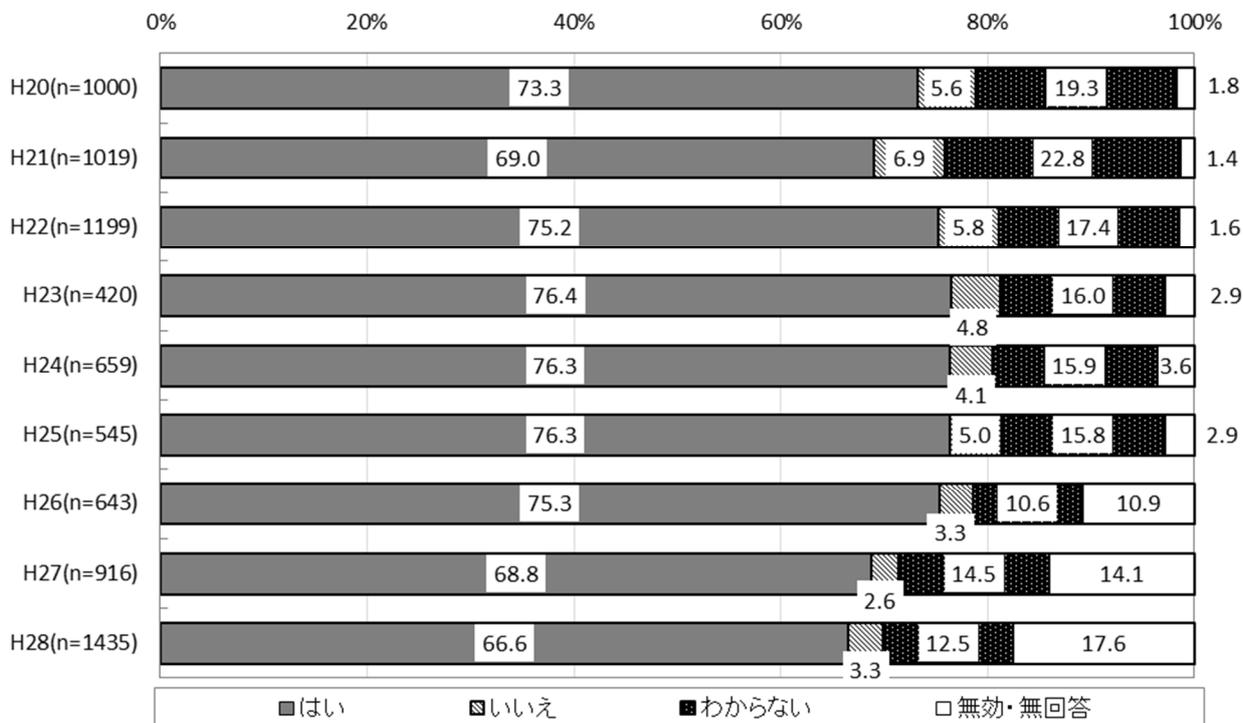
期待と違った、残念	自然	大自然を楽しみたかった。	もっと自然が多いかなと思っていたが少し少なかったかな。トイレをもっと使用しやすいようにしてほしい。事前説明等。
	景色、景観	自然観賞。 ・自然の美しさ・植物・鳥	もっとうっそうとした森かと思った・・。 同じ様な場所が多く少し単調だった。
	コケ	コケの群生	以前よりへっている感じ。
	原生的な・手つかずの自然	手つかずの自然に出会う為。	もう少し道迷いが出るような大自然を想像していましたが、割と道は整備され、バリエーションルートを通るようなイメージとは違っていました。
	紅葉	紅葉	少し不満。 もっと紅葉を期待していた。
	森林浴、自然散策	雨の多い緑豊かな自然の森の中を歩くのを楽しみに来ました。	もっと深い森を想像していたが思った以上に開けた感じで変化に乏しい林な気がした。これからもどんどん自然に戻って行って欲しい。今日の私達も又西大台を荒らしたのかとも思う。
	原生林	自然美、原生林。	原生林というほどではなかった。
	利用調整地区への興味	立入制限するからには、きっと、すばらしい所なんだろうと思っていました。モスフォレスト。	森の再生のための立入制限であって、まだ再生途上なんだろうなと思いました。期待が大きすぎました。けどそれも見せ方の問題だと思うので、もっと人数制限するのもアリかもしれません(希少価値)。
	植生、植物、樹木	植物の観察。	大草がシカの被害で荒れているので、うるおいのある森の感じがとぼしいと思いました。
	神秘的・幻想的な雰囲気	秘境・秘境のイメージで来ました。 神秘的な人が立ち入らない場所、自然がどんな所かみたかった。	山の中が、案外荒れているのだと思った。倒木、鹿からの被害が大きく影響しているのだと知り、自然を守るのも大変な仕事だと思う。皆様、ご苦労様です。 眺望できる所があまりなかったのも、高い山に登っている感覚があまりなかった。フェンスがあるのが違和感があった。
	動植物、生物	オオダイガハラサンショウウオを見たかった。	期待どおりでなかった。もっとゆっくり時間がある時にさがしてみたい。
動植物や風景を期待していました。		石しか記憶にありません。ガイドさんにもよるでしょうが。ひたすら歩いただけで、途中何の説明もなかったのも、思い出がありません。	
両評価	自然	高山帯の自然。	雨が少ない時期が続いたせいか、少し期待はずれもあったが、全体によかった。
	景色・景観	100名山の美しい景色を期待して。	景色は良かったが、道が物足りなかった。
	原生林	・原生林にふれる事 ・自然を感じる事	満足したが、もう少し動物が出てきてほしかった。
	利用調整地区への興味	入山規制をしている山は、他と何か違いはあるか、魅力はあるか、来訪(時間をかけてまで)して良かったと思われる山・自然であってほしい。私の山仲間で、日出ヶ岳に来た人は、何人もいるが、西大台に来た人は誰もいなかったのも、どんな所か是非知りたかった。	原生林、という事で、樹林の中は、うっそうとしていたが、陽が入らないのか、雑木、下笹はなく、見通しが良く、管理された公園?のように感じた。本日は、入山者が少なく、アップダウンもそうなく静かな森林浴を楽しんだ。
	静けさ、人の少なさ	静かな環境とすばらしい自然。	人も少なく期待どおりだった。ただ、展望台からは雲が多く見晴らしがよくなかった。
	植生、植物、樹木	自然、動植物	植物はあまりわからなかった。(晴れていたのも)コケがキレイでした。
	東大台との違い	東大台は知っていたので西大台を知りたかった。静かで良いと聞いていたのも。	期待どおりだったが、もう少し手が入っていない方が自然だったと思う。

その他感想	自然	自然に触れ合う為	整備されていた。
	原生的な・手つかずの自然	手つかずの自然が残されていること。保護が他の国立公園と異なっていること。	自然林がいかに大切か、又保存も合わせて手を入れていくことの大切さが解った。
	利用調整への興味	自然保全の状況。 東大台とは異なり、調整地区として保全活動を実施していることで、自然の復元状況を見てみたかった。	時間はかかるものの、少しずつではあるが状況が改善していることが見てとれました。
	東大台との違い	東大台とのちがいを感じたかった。	ちがうことは、よくわかった。し、一般観光向きではないと実感できた。
な載記	その他	有名な場所なので一度は行きたいと思っていました。	-

(5) 西大台利用調整地区の再訪意志 [SA]

- 平成 28 年度利用者について、西大台利用調整地区への再訪の意志を尋ねたところ、「はい」(66.6%) が最多である。

図表 47 西大台利用調整地区への再訪の意向

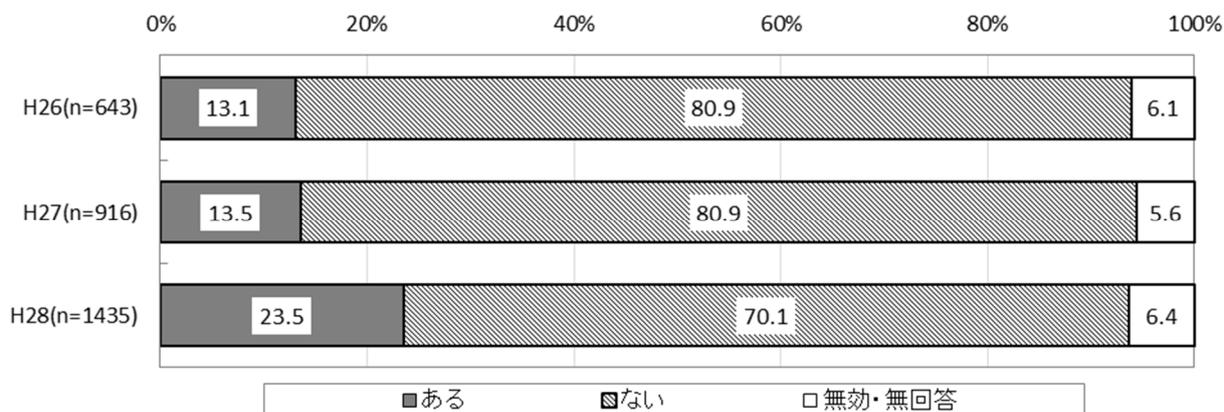


6. ガイド利用について

(1) ガイド利用の経験の有無 [SA]

- 平成 28 年度利用者において、今回も含めて、大台ヶ原でガイド付きの山歩きをした経験について尋ねたところ、利用したことが「ある」が 23.5%、「ない」は 70.1%である。

図表 48 ガイド付きの山歩き・登山の経験



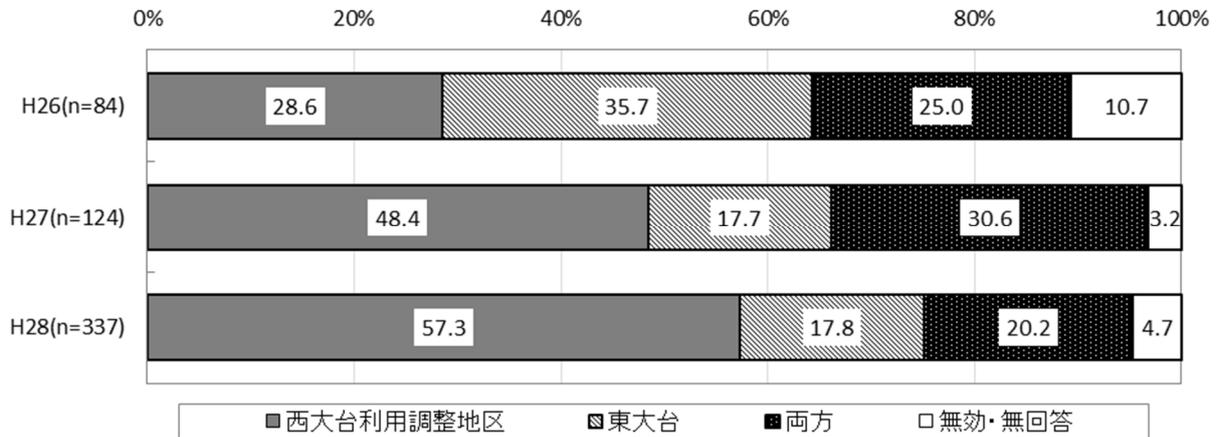
- 大台ヶ原でガイドを利用したことがない理由については、「一人で・自分のペースで歩きたい」(18.2%) が最も多く、「知らなかった」(15.8%)、「グループ・家族で楽しみたい」「必要ない」(ともに 5.1%) と続く。

No.	カテゴリ	実数	%
1	一人で・自分のペースで歩きたい	183	18.2
2	知らなかった	159	15.8
3	グループ・家族で楽しみたい	51	5.1
3	必要ない	51	5.1
5	機会がなかった	33	3.3
6	初めて来た	32	3.2
7	料金が低い	27	2.7
8	同行者に知識のある人がいる	25	2.5
9	自分に知識・経験がある	11	1.1
9	特に理由はない	11	1.1
	その他	55	5.5
	無回答	368	36.6
	計	1006	

(2) ガイド利用時に訪問した場所 [SA]

- 大台ヶ原でのガイド利用経験のある方に利用場所を尋ねたところ、平成 28 年度利用者については「西大台利用調整地区」が最多となり (57.3%)、次いで「両方」(20.2%)、「東大台」(17.8%) である。

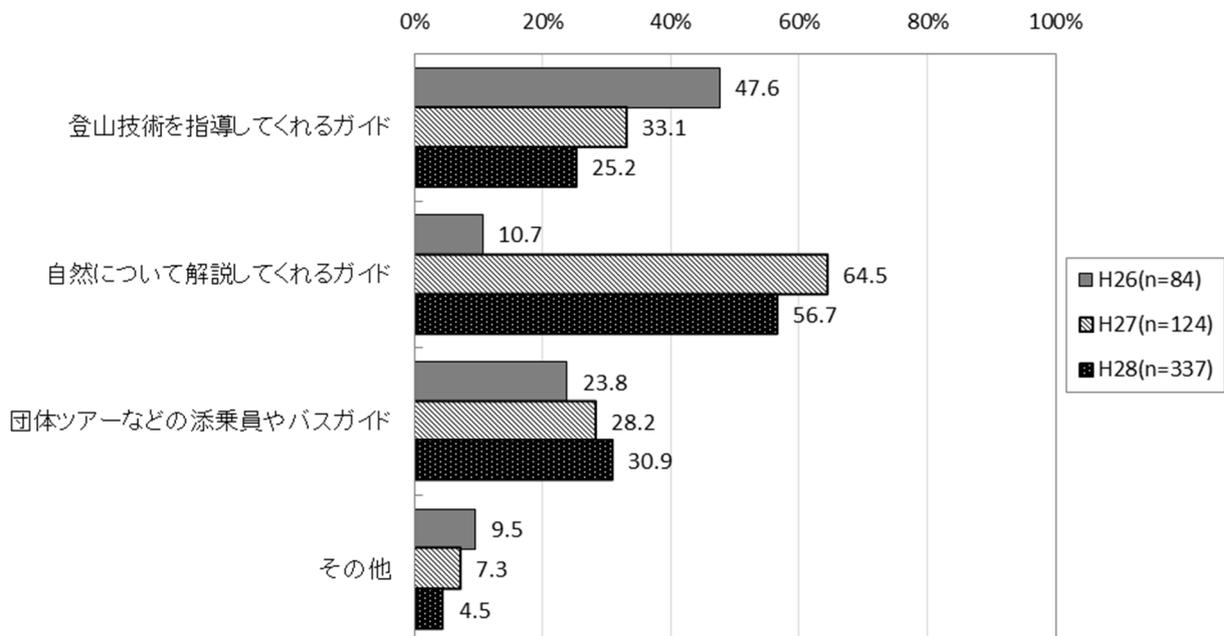
図表 50 ガイド付きの山歩き・登山をした場所



(3) ガイド利用時のガイド内容 [MA]

- 平成 28 年度利用者において、大台ヶ原でガイドを利用した際のその内容は、「自然について解説してくれるガイド」が最多となり (56.7%)、次いで「団体ツアーなどのバスガイド」(30.9%)、「登山技術を指導してくれるガイド」(25.2%) である。

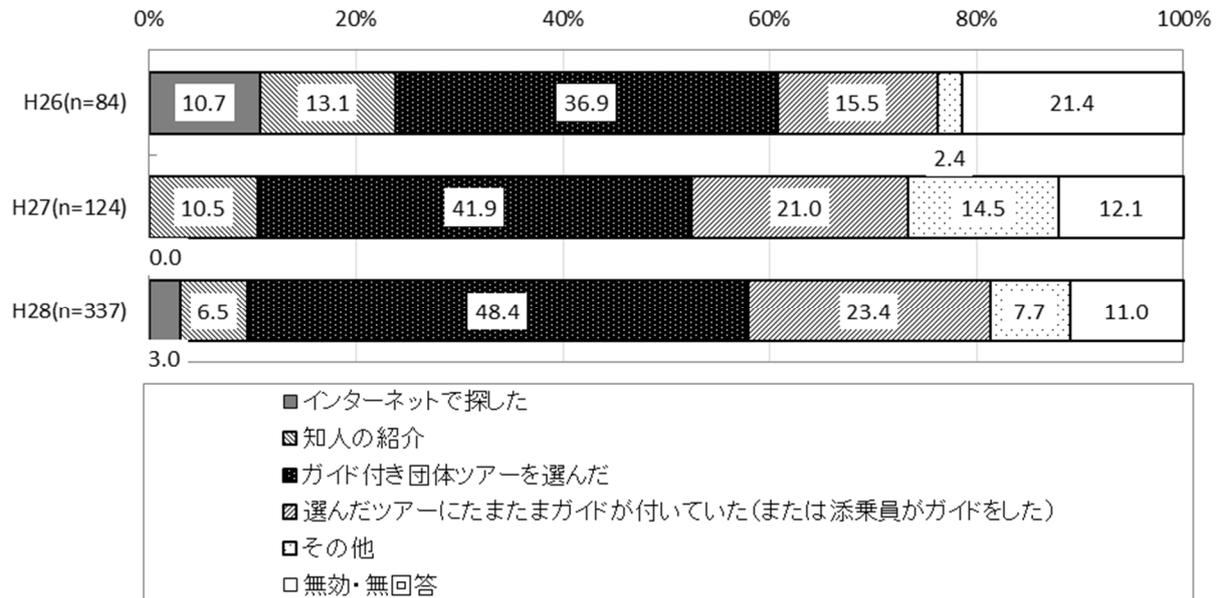
図表 51 ガイドの内容



(4) ガイドを選んだ経緯 [MA]

- 大台ヶ原でガイド利用経験のある平成 28 年度利用者が、そのガイドを選んだ経緯については、「ガイド付き団体ツアーを選んだ」が最多である (48.4%)。

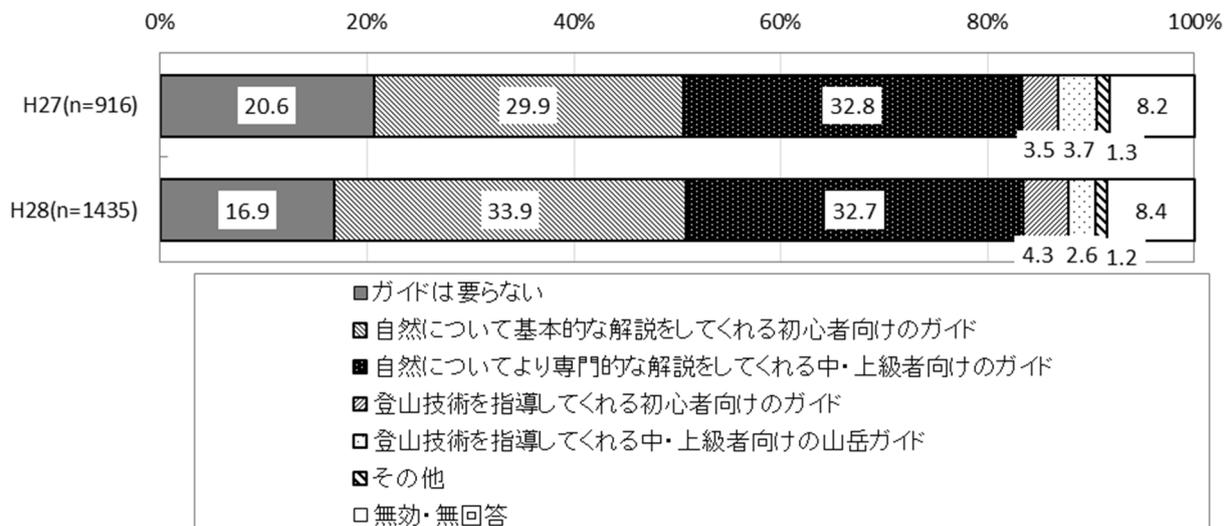
図表 52 ガイドを選んだ経緯



(5) 希望するガイド [SA]

- 大台ヶ原でガイドを利用するとした場合に、平成 28 年度利用者が希望するガイドは「自然について基本的な解説をしてくれる初心者向けのガイド」(33.9%)、「自然についてより専門的な解説をしてくれる中・上級者向けのガイド」(32.7%)が多い。一方で「ガイドは要らない」とする利用者は 16.9%である。

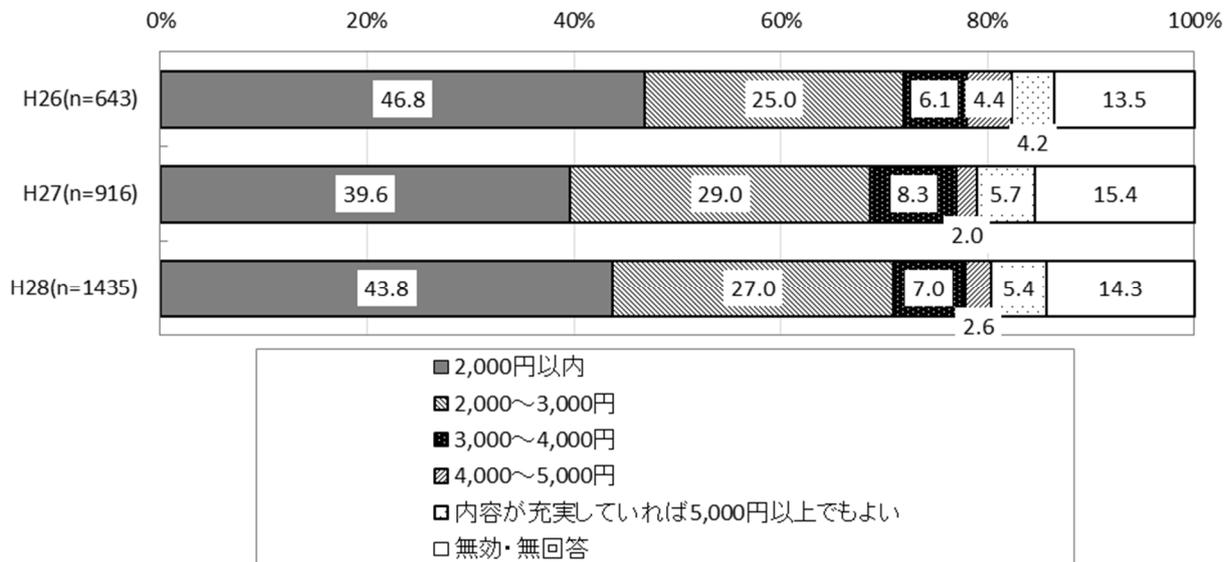
図表 53 希望するガイド (大台ヶ原で利用する場合)



(6) 支払可能なガイド料金 [SA]

- 大台ヶ原でガイドを利用するとした場合に、利用者一人当たり支払ってもよいガイド料金を尋ねたところ、平成 28 年度利用者は「2,000 円以内」が最多となり (43.8%)、次いで「2,000 円～3,000 円」(27.0%) であった。一方、「内容が充実していれば 5,000 円以上でもよい」は 5.4%である。

図表 54 支払ってもよいガイド料金 (大台ヶ原でガイドを利用する場合)



IV. おわりに

吉野熊野国立公園の核心地域の一つである大台ヶ原について「大台ヶ原自然再生推進計画 2014」に基づき、自然環境への負荷の軽減及び自然体験学習の提供等を可能にする新しい利用のあり方の確立に資するため、本調査では、大台ヶ原の利用動向に関する分析ならびに西大台利用調整地区の利用者を対象とした意見聴取の実施を通じて、大台ヶ原の利用状況に関する基礎的なデータ等の収集・分析を行った。

図表 55 西大台利用調整地区の利用者を対象とした意見聴取の実施 結果概要

[全般]

- ・利用者属性に大きな変化はないが、年齢層はやや高年齢層が増加している。
- ・ビジターセンターへの評価も引き続き高く、レクチャーや冊子への不満は少ない。要望としてはレクチャー開始時間への意見が散見された。
- ・利用調整地区制度の認知は昨年よりやや増加している。利用前の期待からの評価としては、一定層の不満も見られたが、概ね満足され、再訪意向は7割近くで前年度と同様であった。

[携帯トイレブースに対する評価]

- ・利用率は7割、そのうち9割が満足と、携帯トイレブースに対する評価は高い。満足理由は「使いやすい」「設置場所がよい」「衛生的」などがあげられた。不満としては、「狭い」「説明がわかりにくい」などがあげられた。
- ・利用しなかった理由は「必要としなかった」が多数を占めた。「利用たくなかった」人の理由としては、「利用法が難しそうだった」「持って帰るのに抵抗があった」などがあげられた。

[ガイド制に対する意見]

- ・経験者は増加傾向がみられたが、未経験者が7割の多数を占める。利用しない理由としては、自分のペースで、グループだけで歩きたい、との意見が多く見られた。一方「知らなかった」との声も多い。
- ・利用する場合は「自然についての解説をする」、2000円以内の料金でのガイドが多く望まれている。

V. 参考資料

1. 西大台利用調整地区の利用に関する意見聴取票

西大台利用調整地区の利用に関する意見聴取用紙

別紙1

入山日時：2016年 月 日 時頃から 時頃まで

I 基本的なことをお聞きします。該当するものに○をつけてください。

I-1 利用者情報など	性別：①男 ②女	年齢
	居住地（都道府県）：() (海外)：()	①10才未満 ②10代 ③20代 ④30代 ⑤40代 ⑥50代 ⑦60代 ⑧70才以上
	登山経験：①引率者なしの登山・トレッキング ②引率者付き登山・トレッキングのみ ③里山の散策程度 ④ほとんどない	
	来訪目的：西大台利用調整地区に来られた主な来訪目的を、1つだけ答えてください。 ①登山・散策 ②写真撮影 ③生物の観察 ④風景鑑賞 ⑤その他 ()	
I-2 来訪を決めた時期	西大台利用調整地区の利用をどれ位前に決められましたか。1つだけお答えください。 ①本日～2週間前 ②2週間～1か月前 ③1か月～3か月前 ④3か月以上前	
I-3 団体ツアー・個人の別	今回のあなたの来訪形態について、1つだけお答えください。 ①旅行会社主催のツアー（主催者名を具体的に：) ②登山や自然観察のガイドツアー（主催者名を具体的に：) ③個人・グループ（計 人） ④その他 ()	
I-4 行程	今回、どのような行程で大台ヶ原に来られましたか。1つだけお答えください。 ①日帰り ②宿泊を伴う行程（宿泊場所：)	
I-5 来訪回数	これまでに大台ヶ原に来た回数 () 回※初めての場合は「0」です。	うち西大台地区に来た回数 () 回※初めての場合は「0」です。

II ビジターセンターで受けたレクチャーについてお聞きします。

II-1	レクチャーの受講日： 月 日
II-2 長さ	あなたは、レクチャーの時間の長さについて、どのように感じましたか。この中から1つだけお答えください。 ①長い ②ちょうどよい ③短い
II-3 内容	あなたは、レクチャー内容について、どのように感じましたか。この中から1つだけ選んでください。 ①満足 ②普通 ③不満
II-4 配布冊子	配布した冊子「西大台利用調整地区ガイド」の内容について、どのように感じましたか。 ①満足 ②普通 ③不満
II-5 不満の理由等	上記のII-3、II-4で「不満」と答えた方は、不満な点、改善すべき点などを、具体的にお書きください。 ()
II-6 その他ご意見	レクチャーの時間割（開始時刻など）について、ご意見等あればお書きください。 ()

V 西大台では、大台ヶ原の自然・文化等を解説したり、自然環境に配慮しながら安全に案内してもらえる「ガイド付きの立入り」が推奨されています。ガイド利用についてご意見等をお聞かせください。

V-1 今回も含め、あなたはこれまでに大台ヶ原でガイド付きの山歩きや登山をしたことがありますか。
① ある ② ない（理由を聞かせてください：例えば料金が安いから、一人で歩きたいからなど）

[]

「①ある」を選んだ方のみ

V-1-1 上の質問で「ある」と答えた方にお聞きします。西大台利用調整地区、東大台地区のどちらでガイド付きの山歩きや登山をされましたか。

- ① 西大台利用調整地区 ② 東大台地区 ③ 両方（①と②）

V-1-2 また、その際のガイドについて以下からあてはまるものをすべて選んでください。

- ① 登山技術を指導してくれるガイド ② 自然について解説してくれるガイド
③ 団体ツアーなどの添乗員やバスガイド
④ その他
(具体的に：)

V-1-3 ガイドを選ばれた経緯を以下からあてはまるものを選んでください。

- ① インターネットで探した ② 知人の紹介
③ ガイド付き団体ツアーを選んだ
④ 選んだツアーにたまたまガイドが付いていた（または添乗員がガイドをした）
⑤ その他（具体的に)

V-2 あなたは、大台ヶ原でガイドを利用するとすれば、どのようなガイドを希望されますか。
この中から1つだけ選んでください。

- ① ガイドは要らない
② 自然について基本的な解説をしてくれる初心者向けのガイド
③ 自然についてより専門的な解説をしてくれる中・上級者向けのガイド
④ 登山技術を指導してくれる初心者向けの山岳ガイド ⑤ 登山技術を指導してくれる中・上級者向けの山岳ガイド ⑥ その他（具体的に：)

V-3 大台ヶ原でガイドを利用するとした場合、ガイド料金を利用者一人当たり何円までなら支払ってもよいとお考えになりますか。この中から1つだけお答えください。

- ① 2,000円以内 ② 2,000～3,000円 ③ 3,000～4,000円 ④ 4,000～5,000円
⑤ 内容が充実していれば5,000円以上でもよい

VI 西大台利用調整地区全般についてのご意見・ご要望等をお聞かせください。

[]

ご協力ありがとうございました。当用紙は大台ヶ原ビジターセンターの回収箱に投函していただくかお渡しした封筒で後日郵送してください。（切手は不要です）

平成 28 年度東大台における携帯トイレブース設置に関する試行調査の結果

1. 調査の目的

利用者から潜在的な要望がある東大台のトイレ設置について検討するため、平成 27 年度には携帯トイレブースを尾鷲辻に設置し、利用者の意識や利用状況を把握するための基礎調査を行った。本年度の調査では、昨年度の調査結果を受け、今後の適用に向けた実際の運用を想定した条件により、携帯トイレブースを現地に設置し、維持管理における課題やコスト、利用者の反応や意向を把握することを目的として実施した。

2. 調査の概要

2-1. 調査期間

調査期間は、以下の 15 日間で、うち平日が 10 日間、土日祝日が 5 日間である。当初は、8/26 (金)～9/9 (金) の連続 15 日間実施する予定であったが、台風のため、8/29 (月)、8/30 (火)、9/4 (日)、9/5 (月) の調査を中止した。そのため、10 月に下表の 4 日間の調査を追加した。

図表 1 調査期間

平成 28 年 8/26 (金)～8/28 (日)、8/31 (水)～9/3 (土)、9/6 (火)～9/9 (金)
10/10 (月・祝)、10/11 (火)、10/16 (日)、10/17 (月)

2-2. 調査方法

(1) 携帯トイレブースの設置

本調査では、上記の調査期間中、東大台の尾鷲辻に携帯トイレ用のブースを設置した。携帯トイレブースは、簡易テントを利用し、携帯トイレ用の簡易便座、トイレトーパー、携帯トイレの仕様説明書等を設置した。

なお、携帯トイレブースは、多くの利用者がある尾鷲辻休憩所からある程度離れており、かつ平坦な場所を選んで、休憩所の約 50m 南に設置した。

(2) 携帯トイレの販売・回収

東大台歩道の入口（大台ヶ原ビジターセンター側）に販売ブースを設置して、携帯トイレを販売した。昨年度の調査では、無料で携帯トイレを配布したが、今年度は実際の運用を想定して有料とし、1 個 220 円で販売した。販売時間は、午前 9 時から午後 4 時を基本とした。

また、携帯トイレブース内にも携帯トイレを設置し、料金後払いでブース内の携帯トイレを使用することも可能とした。

使用した携帯トイレは、利用者自身で山上駐車場まで持ち帰ることとし、販売ブースの側に設置した回収ボックスで回収した。

なお、調査期間中は、東大台歩道入口、尾鷲辻休憩所、大台ヶ原山上駐車場バス待合所、大台ヶ原ビジターセンターに、携帯トイレの販売および携帯トイレブースの設置に関する案内看板を掲示して、試行調査に関する広報を行った。

(3) 携帯トイレブースの維持管理

調査期間中は、携帯トイレ販売終了前の午後3時から4時の間に携帯トイレブースの見回りを行い、汚れの確認や備品の補充等の維持管理を行った。なお、調査期間中、ブースや便座が汚されるなどの問題は発生しなかった。

(4) アンケート

携帯トイレ利用者の属性、携帯トイレの利用に関する意向、携帯トイレブースを利用した際の評価、等について把握するため、アンケート調査を実施した。アンケート票は、携帯トイレを販売する際に購入者に配布し、東大台登山道を利用した後で記入してもらい、販売ブースの係員が受け取るか、または大台ヶ原ビジターセンターに設置した回収ボックスで回収した。

図表2 携帯トイレブースの設置場所および携帯トイレ販売場所



写真1 携帯トイレブースの様子



写真2 携帯トイレブース内部の様子



写真3 販売した携帯トイレのセット
(便袋1、吸水ポリマー1回分、防臭袋1のセット)

3. 調査結果

3-1. 携帯トイレの販売・回収の結果

(1) 携帯トイレの販売・回収個数

調査期間における携帯トイレの販売・回収数は、下表の通りである。販売数は、15日間で計130個、うち6個はブース内の携帯トイレを使用後、後払いで料金を支払ったものである。1日当たりの販売個数は8.7個である。なお、ブース内に設置した携帯トイレを使用して、料金の支払いが無かったケースが1件あった。

平日・休日別の平均販売数は、平日が1日当たり5個、休日が1日当たり16個となっている。また、調査期間中雨天の日が5日間あり、雨天の日の平均販売数は1日当たり2.8個、雨天以外は1日当たり11.6個であった。

使用済み携帯トイレの回収数は計18個で、販売数に対する比率は13.7%であった。販売数に対して、回収数が少なかったのは、携帯トイレを購入したが使用しなかった人や、使用したがそのまま持ち帰った人が多かったと考えられる。

図表3 携帯トイレの販売・回収結果

日	曜日	天候	携帯トイレ販売数			ブース内使用 支払い無し	携帯トイレ 回収数	備考
			事前販売	ブース内使用 後払い	計			
8/26	金	晴	0	0	0	0	0	9:00~11:30 テント設営 11:30~16:00 販売
8/27	土	曇	29	0	29	0	4	9:00~16:00 販売
8/28	日	雨・霧	0	0	0	1	0	9:00~14:00 販売 14:00~16:00 台風接近のため テント撤収
8/29	月							台風のため休止
8/30	火							台風のため休止
8/31	水	晴	4	0	4	0	1	9:00~16:00 販売
9/1	木	晴時々曇	4	1	5	0	2	9:00~16:00 販売
9/2	金	晴	5	0	5	0	1	9:00~16:00 販売
9/3	土	雨	0	0	0	0	0	9:00~14:00 販売 14:00~16:00 台風接近のため テント撤収
9/4	日							台風のため休止
9/5	月							台風のため休止
9/6	火	曇のち雨	2	0	2	0	0	9:00~11:00 テント設営 11:00~16:00 販売
9/7	水	晴のち曇	0	0	0	0	0	9:00~16:00 販売
9/8	木	雨一時晴	0	0	0	0	0	9:00~16:00 販売
9/9	金	晴時々曇	11	0	11	0	0	9:00~14:00 販売 14:00~16:00 テント撤収
10/10	月・祝	晴	30	1	31	0	2	9:30~16:00 販売
10/11	火	晴時々曇	11	0	11	0	1	8:00~13:00 販売
10/16	日	曇時々雨	19	1	20	0	3	9:30~11:00 テント設営 9:30~16:00 販売
10/17	月	雨のち晴	9	3	12	0	4	8:00~14:00 販売 14:00~16:00 テント撤収
合計			124	6	130	1	18	

(2) 大台ヶ原の利用者数と販売個数との関係

調査期間の各日における携帯トイレの販売数と大台ヶ原の推定利用者数との関係は、下表の通りである。調査期間中の各日の推定利用者数に対する販売個数の比率は、0.0%から6.5%の間で、15日間における平均比率は2.3%であった。

図表4 大台ヶ原の利用者数と販売個数との関係

日	曜日	天候	推定利用者数	携帯トイレ販売数	利用者数に対する販売数の比率(%)
8/26	金	晴	235	0	0.0
8/27	土	曇	497	29	5.8
8/28	日	雨・霧	221	0	0.0
8/31	水	晴	265	4	1.5
9/1	木	晴時々曇	206	5	2.4
9/2	金	晴	200	5	2.5
9/3	土	雨	186	0	0.0
9/6	火	曇のち雨	64	2	3.1
9/7	水	晴のち曇	63	0	0.0
9/8	木	雨一時晴	50	0	0.0
9/9	金	晴時々曇	168	11	6.5
10/10	月・祝	晴	1,936	31	1.6
10/11	火	晴時々曇	372	11	3.0
10/16	日	曇時々雨	925	20	2.2
10/17	月	雨のち晴	189	12	6.3
合計			5,577	130	2.3

※大台ヶ原の推定利用者数は、正午時点の駐車台数を基に以下の数式で算出
 利用者数＝観光バス台数×22人＋自動車台数×2.2人×2回転＋二輪車台数×1.1人

3-2. アンケート結果

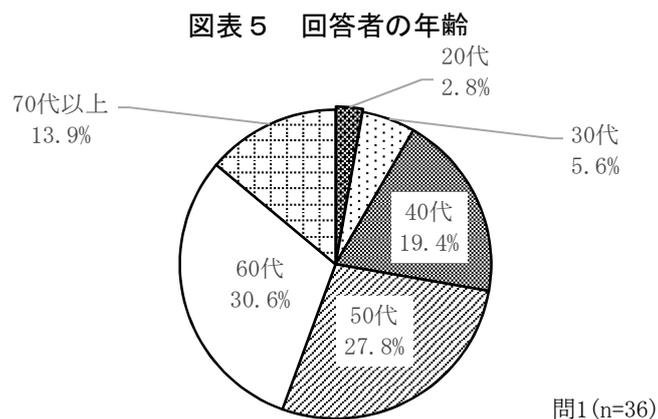
(1) アンケート配布・回収数

アンケートの配布数は130票、回収数は36票、回収率は27.7%であった。

(2) 回答者の属性

1) 年齢

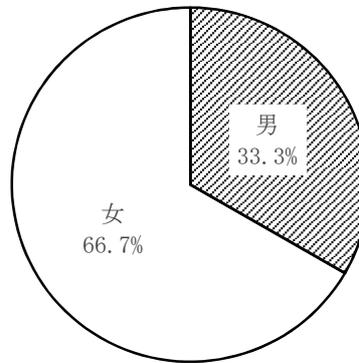
回答者の年齢区分は、「60代」が30.6%で最も多く、以下「50代」27.8%、「40代」19.4%と続き、40～60代だけで全体の7割以上を占めていた。



2) 性別

回答者の性別は、「男性」が33.3%、「女性」が66.7%であり、男女比は女性の方が6割以上を占めていた。

図表6 回答者の性別

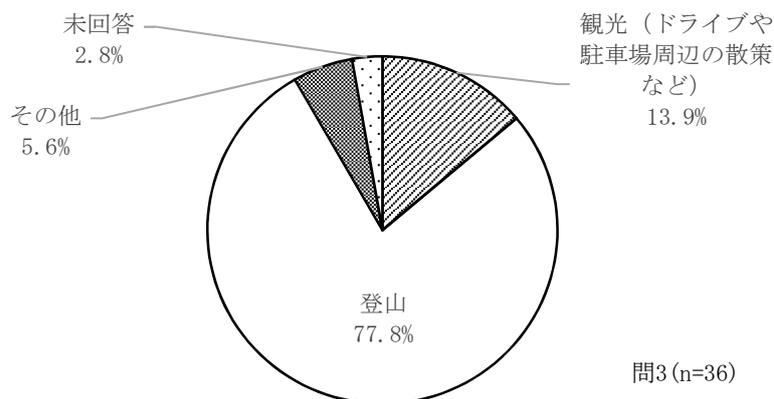


問2(n=36)

(3) 来訪の目的

東大台への来訪の目的は、「登山」が77.8%、「観光」が13.9%であり、登山目的が8割弱を占めていた。

図表7 来訪の目的

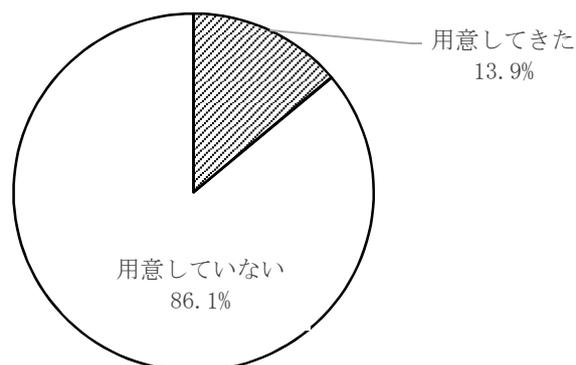


問3(n=36)

(4) 携帯トイレの準備状況

来訪目的携帯トイレの準備状況については、アンケート回答者のうち全体の86.1%が携帯トイレを準備しておらず、準備してきた人は13.9%であった。

図表8 携帯トイレの準備状況

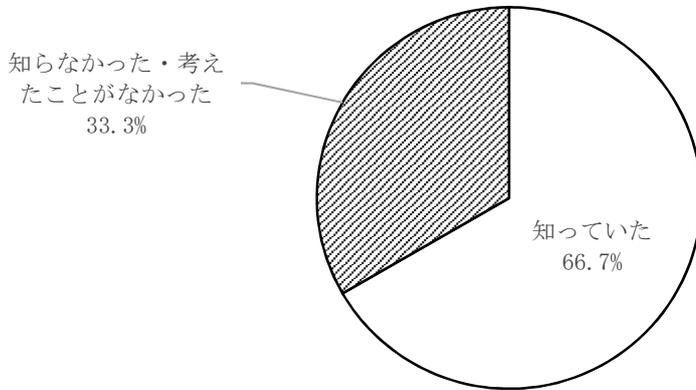


問4(n=36)

(5) 大台ヶ原におけるトイレ整備状況の認知度

大台ヶ原では駐車場にしかトイレが無い事について知っていたかどうかを尋ねた結果、「知っていた」と回答した人が66.7%、「知らなかった」と回答した33.3%であった。

図表9 トイレ整備状況の認知度

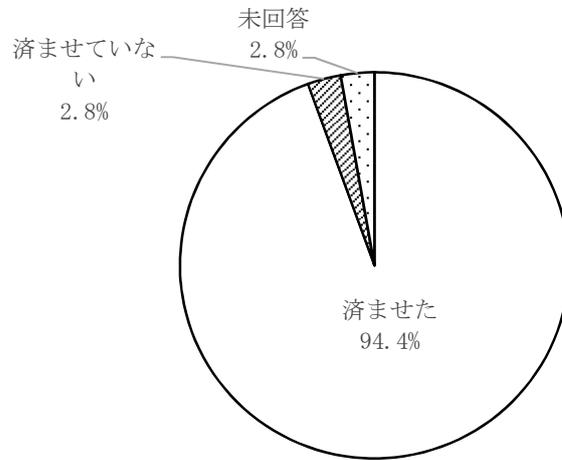


問5 (n=36)

(6) 出発前のトイレ利用状況

出発前のトイレ利用状況を尋ねた結果、94.4%が事前に「済ませた」と回答し、「済ませていない」は2.8%であった。

図表10 出発前のトイレの利用状況

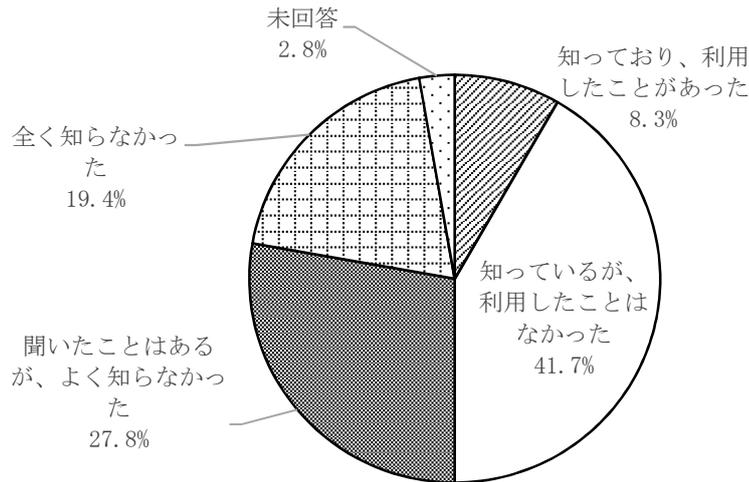


問6 (n=36)

(7) 携帯トイレの認知度

携帯トイレの認知度について尋ねたところ、「どういうものか知っていたが、利用したことはなかった」が41.7%で最も多く、次いで「聞いたことはあったが、どういうものかよく知らなかった」が27.8%、「全く知らなかった」が19.4%と続き、「携帯トイレがどういうものか知っており、利用したことがあった」は8.3%であった。全体でみると、7割以上の回答者は携帯トイレがどういうものであるかを知っていた。

図表 11 携帯トイレの認知度



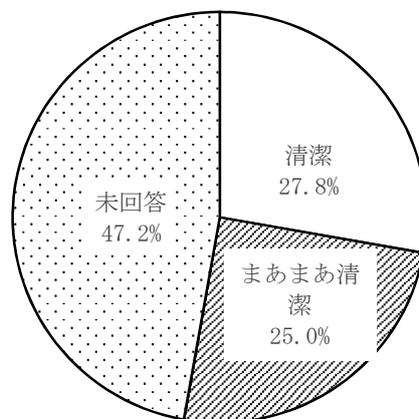
問7 (n=36)

(8) 携帯トイレブースを利用した上での評価

1) 携帯トイレブースの清潔さ

携帯トイレを使用した際の清潔さについて尋ねたところ、「清潔だと思った」が27.8%、「まあまあ清潔だと思った」が25.0%であり、「やや不潔だと思った」、「不潔だと思った」と回答した人はいなかった。

図表 12 ブースの清潔さ



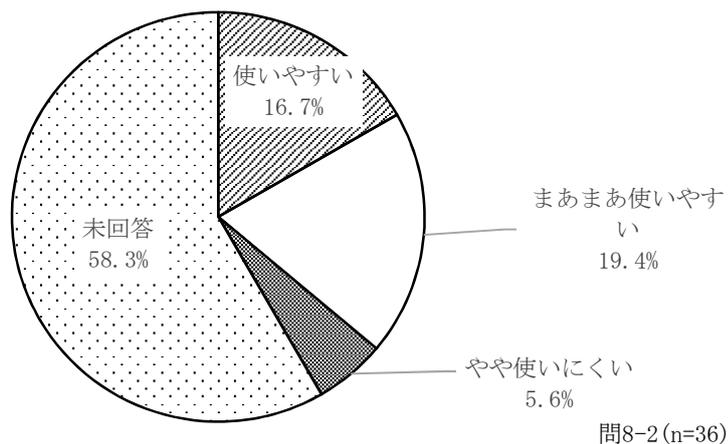
問8-1 (n=36)

2) 携帯トイレブースの使いやすさ

携帯トイレを使用した際の使いやすさについて尋ねたところ、「使いやすいと思った」が16.7%、「まあまあ使いやすいと思った」が19.4%、「やや使いにくいと思った」が5.6%であり、「非常に使いにくいと思った」と回答した人はいなかった。

なお、「やや使いにくいと思った」と回答した人に使いにくいと感じた点を尋ねたところ、「便座に袋がかけにくかった」、「中が暗くて少し使い辛かった」、「手洗いやお手拭きがほしかった」という回答であった。

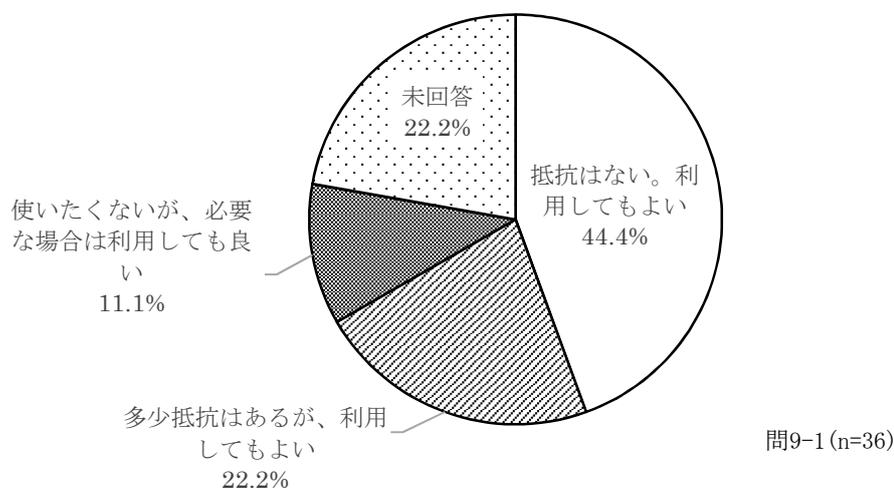
図表 13 ブースの使いやすさ



(9) 携帯トイレの利用意向

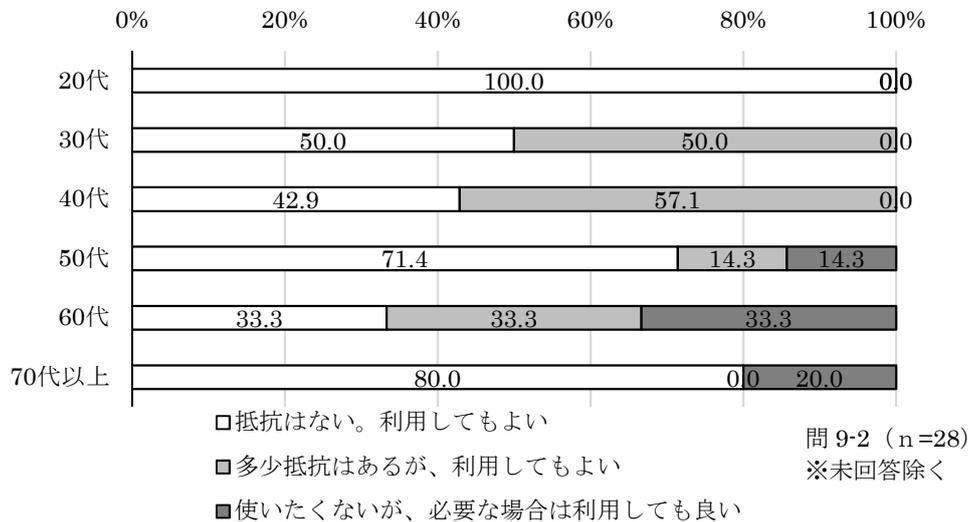
今後の携帯トイレの利用意向について尋ねたところ、「特に抵抗はない。利用してもよい」が44.4%で最も多く、以下「多少抵抗はあるが、携帯トイレを利用してもよい」が22.2%、「使いたくないが、どうしても必要な場合は利用してもよい」が11.1%と続き、「使わない」と回答した人はいなかった。多少の抵抗感がある人も含めると、未回答者を除き、「利用してもよい」と考える回答者の割合は100%であった。

図表 14 携帯トイレの利用意向



次に、携帯トイレの利用意向について、年齢別にみると、下図の通りである、50代以上の回答者に「使いたくないが、必要な場合は利用してもよい」という消極的な回答がみられ、高齢の利用者に、携帯トイレの利用に対する抵抗感が強い傾向がうかがわれる。

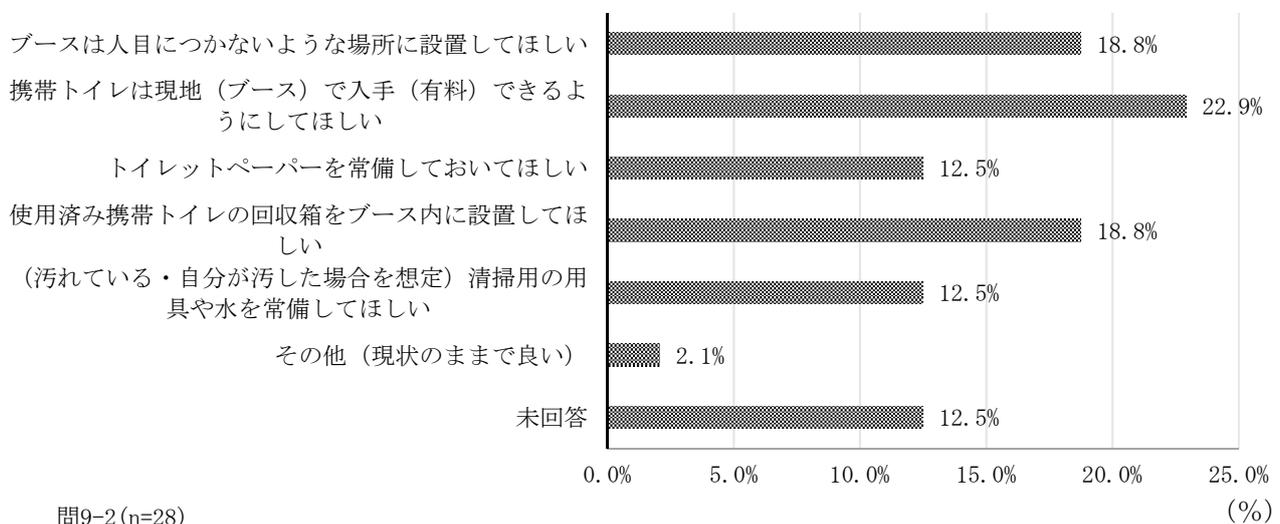
図表 15 年齢別携帯トイレの利用意向



(10) 携帯トイレブース設置の際に準備（配慮）してほしい事

(9) で、「利用してもよい」と回答した人に対して、携帯トイレブースの利用にあたって、これだけは準備（配慮）してほしい事について尋ねた結果、「携帯トイレは現地（ブース）で入手（有料）できるようにしてほしい」が22.9%で最も多く、以下「ブースは人目につかないような場所に設置してほしい」と「使用済み携帯トイレの回収箱をブース内に設置してほしい」が18.8%、「トイレットペーパーを常備しておいてほしい」と「(汚れている・自分が汚した場合を想定) 清掃用の用具や水を常備してほしい」が12.5%の順で多かった。その他の意見として、「現状のままで良い」との回答があった。

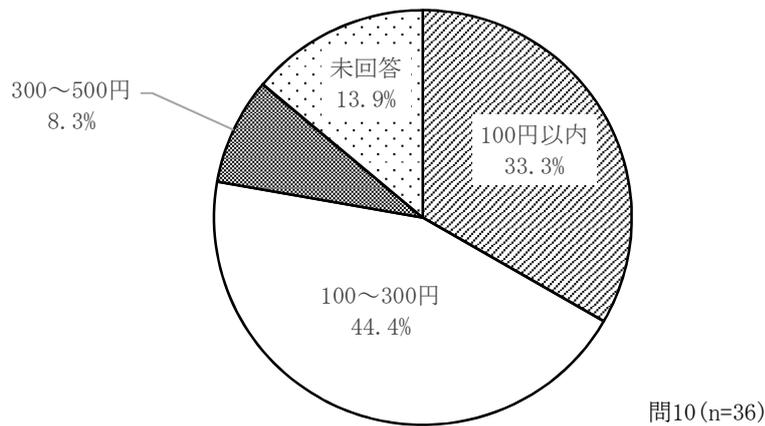
図表 16 携帯トイレブース設置の際に配慮してほしい点（複数回答）



(11) 携帯トイレブース利用時の料金負担額

携帯トイレブースを実際に運用する場合には、ブースの維持管理のための費用が必要となることから、携帯トイレブースを利用する際の料金負担額について尋ねた結果、「100～300円」が44.4%で最も多く、次いで「100円以内」が33.3%、「300～500円」が8.3%であった。「500円以上」と「払いたくない」という回答者はいなかった。

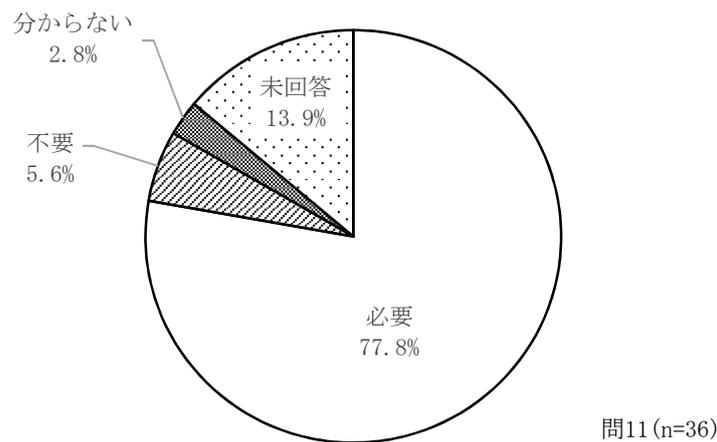
図表 17 利用時の料金負担額



(12) 常設携帯トイレブース設置の必要性

大台ヶ原（東大台）歩道における、今後の常設の携帯トイレブース設置の必要性について尋ねたところ、「必要」が77.8%で最も多く、「不要」が5.6%、「分からない」が2.8%であった。全体の7割以上が「必要」と回答した。

図表 18 ブース設置の必要性



(13) 自由回答

東大台でのトイレの設置について、自由意見を求めた結果、以下の31件の回答が得られた。最も多かったのは、トイレブースの設置に肯定的な意見で15件であった。一方、トイレブース設置に否定的な意見も2件あった。その他には、設置箇所数を増やしてほしいという意見(4件)や、設置場所が分かりにくかったという意見(2件)などがあった。

■トイレブース設置に肯定的な意見(15件)

- ・登山道にトイレがあると安心して山歩きが楽しめるので、是非お願いしたい。(2件)
- ・水分を控えようということを考えなくてよい。(2件)
- ・使用後はすっきりした気分でハイキングを楽しむことができた。
- ・女性には安心感がある。(2件)
- ・男性は立ち小便がなくなって良いと思う。
- ・トイレの設置をお願いしたい。
- ・大変良いチャレンジだと思う。(2件)
- ・継続することに協力する。
- ・トイレの設置を待っていた。
- ・すごく良かった。(2件)

■ブースについての意見(3件)

- ・ペーパーが備えられていることに驚いた。
- ・「使用中・アキ」の札はもう少し大きいほうが分かりやすい。
- ・便座に袋をひっかけるフックがあるとなお安心できる。袋が下に落ちてしまわないか心配だった。

■使用料金についての意見(1件)

- ・費用がかかるのは当然だと思う。

■設置場所についての意見(2件)

- ・トイレを見つけられず、結局使用しなかった。
- ・場所が分かりにくい。

■設置箇所数についての意見(4件)

- ・男女トイレを別にしてほしい。(2件)
- ・今回は1カ所だけだったが、2カ所ぐらいあったほうが良い。
- ・日出ヶ岳山頂や大蛇峠分岐辺りにもトイレブースがあると安心。

■トイレブース設置に否定的な意見(2件)

- ・自然保護のためにトイレ設置は必要ないと思う。
- ・山の自然の中に設置は景観にそぐわない。

■その他の意見（4件）

- ・用意してきたが、購入した。
- ・6時に駐車場があいていることに驚いた。素晴らしい場所だった。
- ・1000人入山したら必ず1000人トイレをして帰るコースなので、人にとっても自然環境にとっても切実な問題である。トイレブースがあると、人も山も安心で、誰でもできる保全活動になる。
- ・トイレ持ち帰りが当たり前のマナーになると良い。

4. 考察

8～10月の15日間、携帯トイレブースを設置し、携帯トイレの販売を行った結果、1日当たりの携帯トイレ販売数は8.7個、期間中の大台ヶ原の推定利用者数に対する割合は2.3%であった。

一方、携帯トイレの購入者に対するアンケート結果では、ほとんどの回答者が今後も携帯トイレを利用してもよいとしており、回答者の8割近くが東大台に常設の携帯トイレブースを設置する必要があると回答するなど、携帯トイレブースに対するニーズは高いといえる。また、自由回答でも携帯トイレブースの設置に対して肯定的な意見が多かった。

携帯トイレブースの利用後の評価についても、概ね清潔で使いやすいという評価が多かった。

これらを踏まえると、調査期間中の大台ヶ原利用者に対して、携帯トイレの販売数の割合は低いですが、アンケート調査からは、携帯トイレブースに対する潜在的な需要は少なくないと考えられる。

平成 28 年度
吉野熊野国立公園西大台利用調整地区における
秋期の利用集中期交通渋滞緩和業務の結果

I. 業務の概要

1. 業務の目的

吉野熊野国立公園大台ヶ原における利用集中期は、マイカー利用による交通渋滞が発生し、渋滞に巻き込まれた西大台利用調整地区の利用者（立入り認定者）がレクチャー時間（時刻）や立入る時間に遅れ、利用に支障が生じることが懸念される。

よって、当業務は、利用が集中される時期において、大台ヶ原山上駐車場の駐車台数を始め現地における車による来訪の状況について、ホームページを用いたリアルタイムな情報を発信し、当該地区における交通渋滞緩和に資することを目的に実施する。

2. 業務の内容

本事業では以下に掲げる各項目について実施した。

図表 1：業務概要

情報の発信

- ・ 大台ヶ原山上駐車場に現地調査員を配置し、各調査日の午前 6 時から午後 2 時の毎時 45 分に駐車可能台数（空数）及び県道大台ヶ原川上線（大台ヶ原ドライブウェイ）における路肩駐車が発生状況を確認し、混雑状況の評価を現地の天気とあわせてホームページ管理者に連絡した後、管理者が 1 時間毎（午前 7 時～午後 3 時）にその情報を発信する。
- ・ 情報発信方法は、近畿地方環境事務所が整備しているホームページ「吉野熊野国立公園大台ヶ原（http://kinki.env.go.jp/nature/odaigahara/odai_top.htm）」にリンクさせ、外部サーバーによって受託者ホームページに作成・管理し、一般に公開する。

II. 事業の実施結果

1 情報の発信

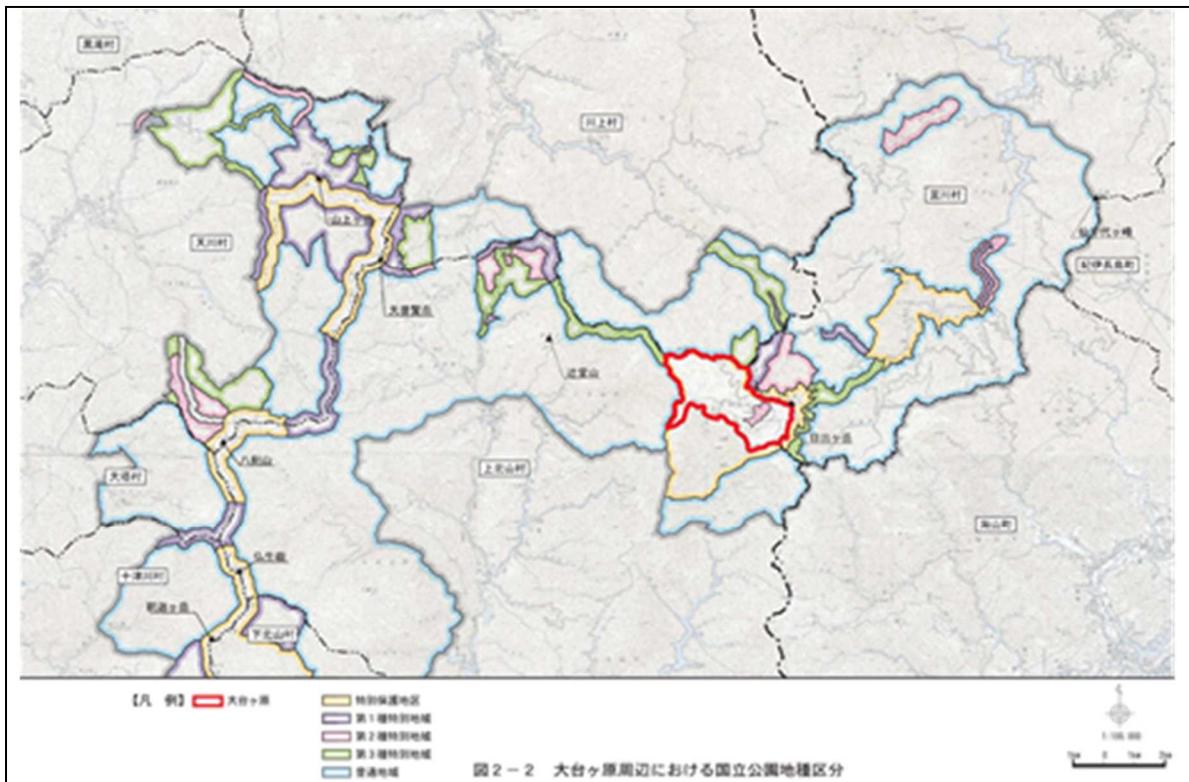
(1) 業務概要

- ・ 大台ヶ原山上駐車場に弊社現地調査員を配置し、各調査日の午前6時から午後2時の毎時45分に駐車可能台数（空数）及び県道大台ヶ原川上線（大台ヶ原ドライブウェイ）における路肩駐車の発生状況を確認し、混雑状況の評価を現地の天気とあわせて弊社ホームページ管理者に連絡した後、管理者が1時間毎（午前7時～午後3時）にその情報を発信した。
- ・ 情報発信方法は、近畿地方環境事務所が整備しているホームページ「吉野熊野国立公園大台ヶ原 (http://kinki.env.go.jp/nature/odaigahara/odai_top.htm)」にリンクさせ、外部サーバーによって自然産業研究所のホームページに作成・管理し、一般に公開した。

(2) 実施内容

- ・ 業務対象地域は図表2のとおりである。調査項目と調査日程および結果を図表3、4に整理した。
- ・ 調査収集した情報を株式会社自然産業研究所ホームページ内の専用ページ (http://ri-nc.co.jp/news/news_20161008_0263.html) に図表5のとおり公開した。

図表2 業務対象地域（奈良県吉野郡上北山村小椽大台ヶ原を中心とする地域）



図表 3 調査項目

対象地域	調査項目
・大台ヶ原山上駐車場	・駐車可能台数 ・天気、気温
・大台ヶ原ドライブウェイ (県道 40 号 大台ヶ原公園川上線)	・路肩駐車発生台数 ・路肩駐車発生距離

図表 4 調査日程一覧

調査日	天候	気温 (平均, °C)	ピーク時の 路肩駐車台数 (台)
10月8日(土)	くもり(濃霧)	16.5	0
10月9日(日)	雨(濃霧)	12.2	0
10月10日(祝)	晴れ	14.9	177
10月15日(土)	晴れ	10.6	140
10月16日(日)	くもり(濃霧)	10.0	0
10月22日(土)	くもり(小雨)	13.0	80
10月23日(日)	くもり	11.1	120
10月29日(土)	くもり(濃霧)	8.6	52
10月30日(日)	晴れ	11.6	345
11月3日(祝)	晴れ	4.5	111

図表 5 情報公開ページ

自然産業研究所
Research Institute for Natural Capital

[> サイトマップ](#) > [個人情報保護方針](#) > [English](#)

[新着情報](#)

[自然研とは](#)

[サービスメニュー](#)

[事業紹介](#)

[会社概要](#)

[研究員公募情報](#)

[お問い合わせ](#)

新着情報

News

新着情報

- [▶ お知らせ](#)
- [▶ セミナー・シンポジウム](#)

お知らせ

2016年10月8日

吉野熊野国立公園大台ヶ原山上駐車場および大台ヶ原ドライブウェイ混雑状況

2016年11月3日（木）午後2時45分現在の大台ヶ原山上駐車場の駐車状況、大台ヶ原ドライブウェイ（県道40号 大台ヶ原公園川上線）の路肩駐車発生状況および、ピジターセンター付近の天候は下記のとおりです。

【山上駐車場混雑状況】	残り駐車可能台数55台 ※普通乗用車用駐車スペース
【大台ヶ原ドライブウェイ路肩駐車】	山上駐車場より約1,100m（56台）ほど路肩駐車が発生しています
【ピジターセンター付近の天候】	晴れ 気温4.9℃

今回の更新をもって2016年シーズンの更新を終了とさせていただきます

<参考情報>
前週のピーク時（2016年10月30日（日）午前11時45分）における大台ヶ原山上駐車場の駐車状況及び、大台ヶ原ドライブウェイの路肩駐車発生状況は下記のとおりでした。

【山上駐車場混雑状況】	残り駐車可能台数0台でした ※普通乗用車用駐車スペース
【大台ヶ原ドライブウェイ路肩駐車】	山上駐車場より約2,400m（345台）ほど路肩駐車が発生していました

上記のとおり山上駐車場付近は混雑が予想されるため、現地へは公共交通機関のご利用をお勧めいたします。

※本情報は近畿地方環境事務所の委託を受け、株式会社自然産業研究所が情報を収集し公開しております。
※本情報は、可能な限り最新の情報を収集・公開しておりますが、ホームページの更新タイミングによっては現地の交通状況とは異なる場合もございます。あらかじめご了承ください。

[▶ ページトップ](#)

株式会社 自然産業研究所

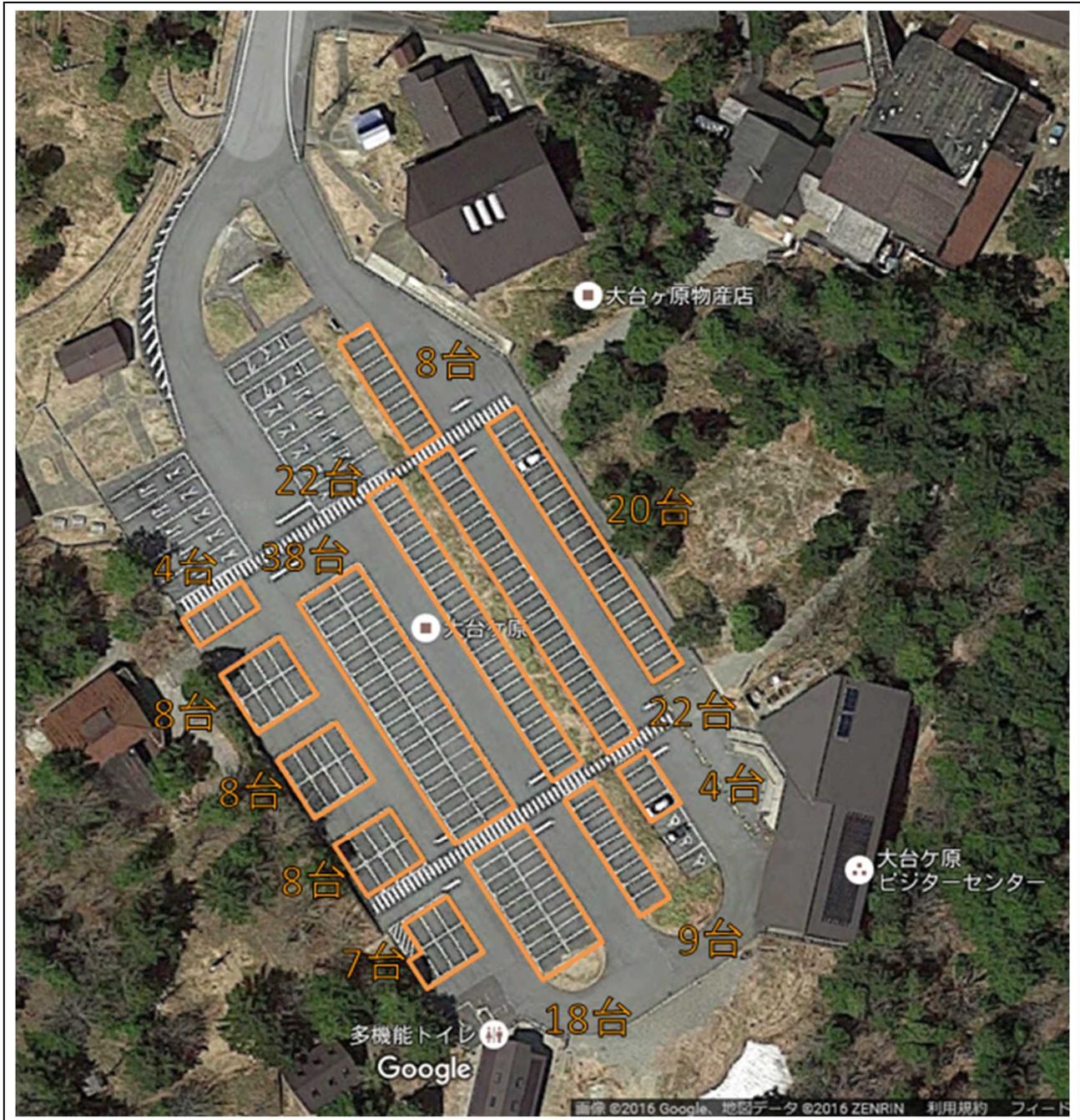
〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東1丁目1-2
TEL 077-572-5336 FAX 077-572-5337

Copyright © 2011 Research Institute for Natural Capital Co., Ltd All Rights Reserved.

(3) 大台ヶ原山上駐車場について

- ・ 大台ヶ原山上駐車場は普通乗用車の駐車用スペースが 176 台となっており、そのほかにも駐車場入り口近くにバイクやバス用の駐車エリアが、ビジターセンター前に障害者用の駐車スペースが 3 台分確保されている。配置は図表 6 の橙色の枠線のとおりである。

図表 6 大台ヶ原山上駐車場配置図



※Google map より引用

(4) 大台ヶ原ドライブウェイについて

- ・ 大台ヶ原ドライブウェイ（県道 40 号 大台ヶ原公園川上線:以下、「ドライブウェイ」という。）は勾配が大きい路線でほぼ全線にわたってつづら折りの急なカーブが連続しており、見通しが悪い路線となっている。カーブ部分以外は普通車でおおむね 3 台分以上

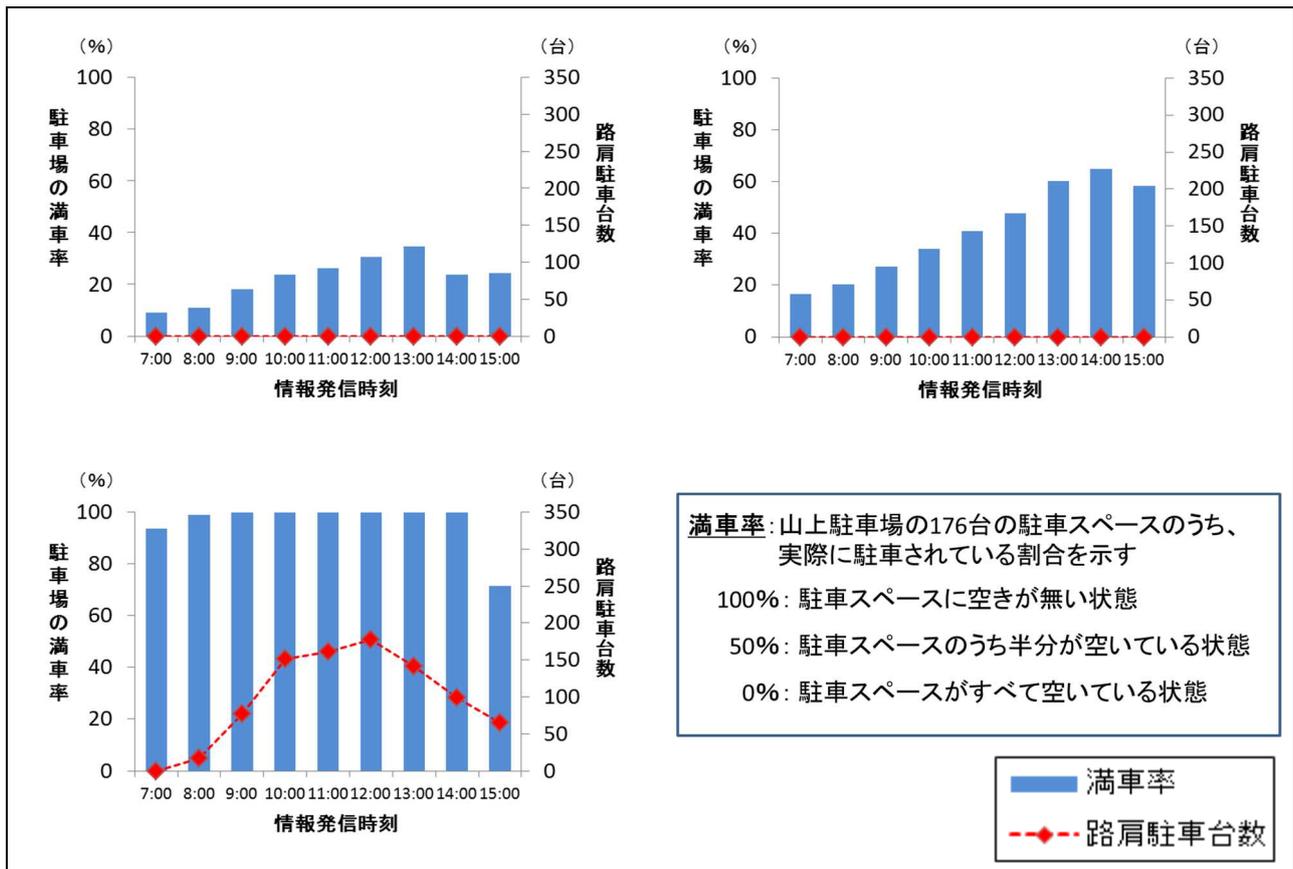
の幅が確保されており、山上駐車場の満車の場合は、警備員の誘導により谷側に寄せて路肩駐車をさせている。

2 満車率および路肩駐車の調査結果と考察

以下に、各調査日程の各情報発信時刻における大台ヶ原山上駐車場の満車率と路肩駐車台数を示した。棒グラフは駐車場の満車率（176台の駐車スペースのうち駐車された割合）を、折れ線グラフはドライブウェイに発生した路肩駐車の台数（実数）を示している。

(1) 10月8日（土）、9日（日）、10日（月）の実施結果

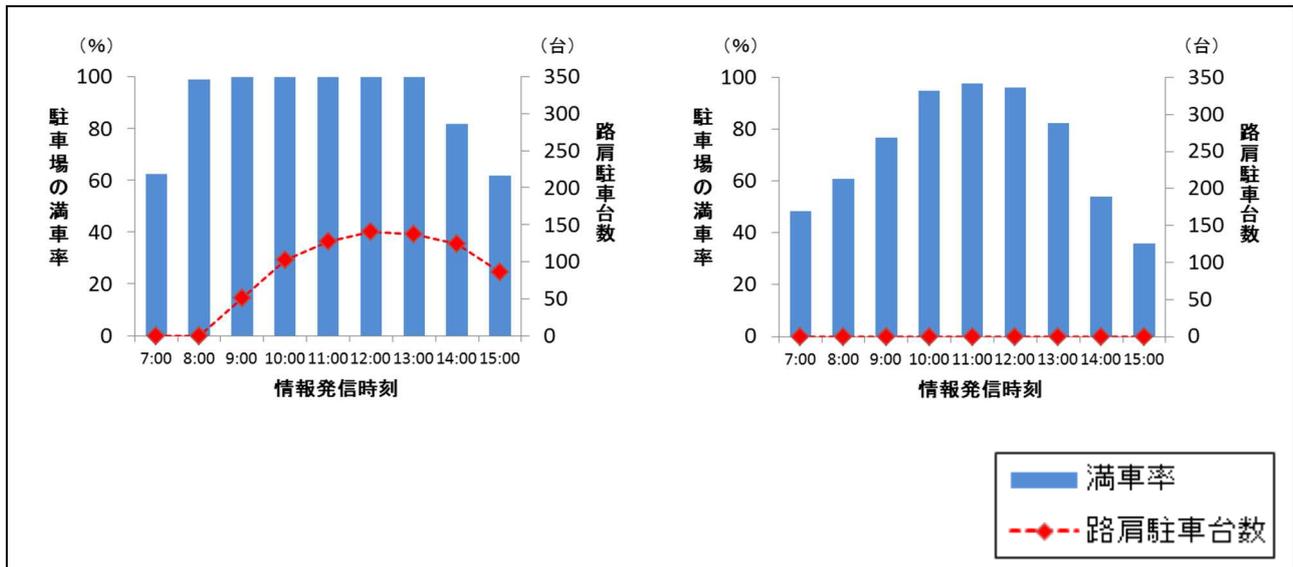
図表 7 10月8日（土）、9日（日）、10日（月）の駐車場の満車率と路肩駐車台数



- 10月8日（土）と9日（日）はいずれの時間帯でも駐車場の満車とならず、ドライブウェイへの路肩駐車は発生しなかった。駐車場の満車率は昼にかけて増加し、9日（日）午後2時の65%が最大であった。両日とも、前日の時点で悪天候となる天気予報が発表されており、当日は実際にくもりまたは雨で濃霧が発生していた。これらのことから利用者は、両日の来訪を避けたと考えられる。
- その一方で10日（月）は、午前7時の時点で駐車場の満車率が90%に達しており、午前8時には路肩駐車が発生し始めていた。その後午前9時から午後0時にかけて駐車台数が大きく増加し、午後0時のピーク時には177台がドライブウェイの路肩に駐車しており、その距離は2,200mに達した。当日は天候が回復し気温も上がり行楽日和となっていた。3連休の最終日であったが、1、2日目の天候が悪かったことで利用者が集中したと考えられる。

(2) 10月15日(土)、16日(日)の実施結果

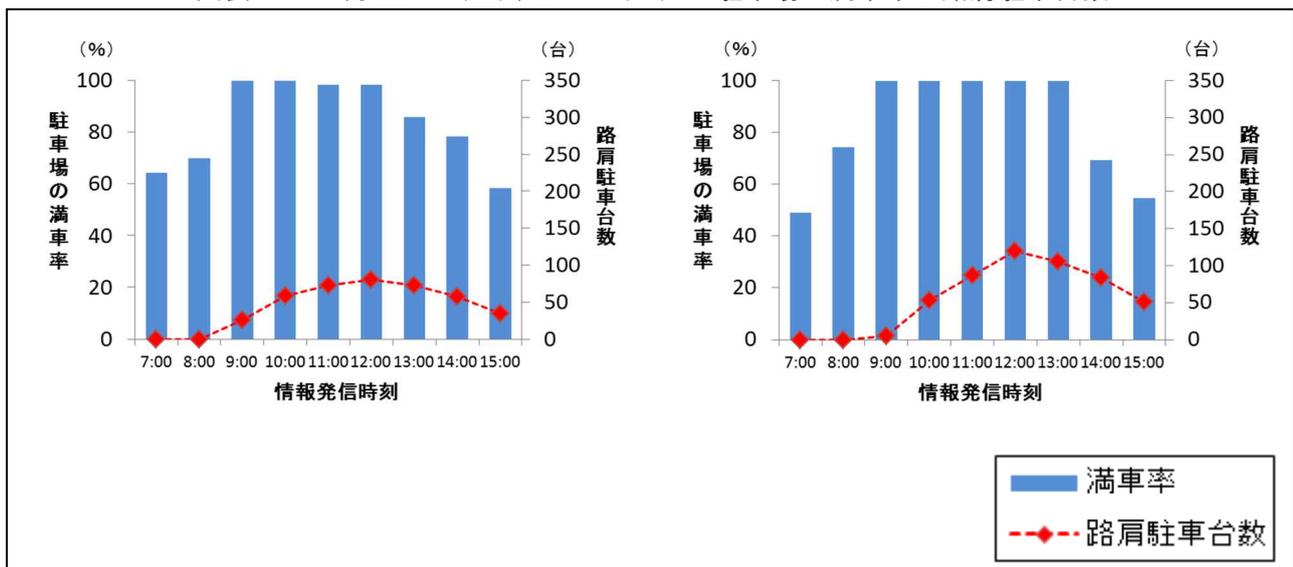
図表8 10月15日(土)、16日(日)の駐車場の満車率と路肩駐車台数



- ・ 10月15日(土)は午前9時から路肩駐車が発生し始め、午後0時のピーク時で140台、距離は1,400mに伸びた。気温は低かったものの天候が良く、多くの利用者がマイカーで訪れていた。
- ・ 10月16日(日)は午後0時に満車率が98%に達したが、路肩駐車は発生しなかった。曇りで濃霧が発生していたことに加え、気温も低かったことが影響したと思われる。15、16日の観光を計画していた利用者は好天が予想されていた15日に集中したと考えられる。

(3) 10月22日(土)、23日(日)の実施結果

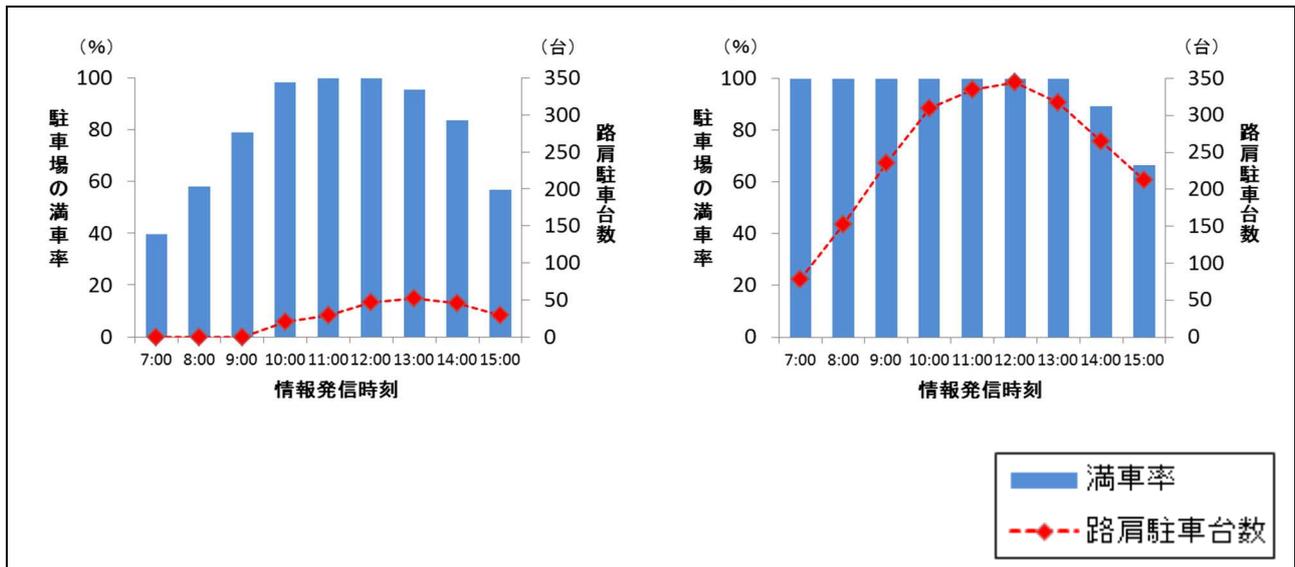
図表9 10月22日(土)、23日(日)の駐車場の満車率と路肩駐車台数



- ・ 10月22日(土)は時折小雨が降る天候だったが、午前9時以降に利用者が増え、ピークとなった午後0時には80台の路肩駐車が発生した。23日(日)も午前9時以降に路肩駐車が発生し、120台の路肩駐車が発生した(午後0時)。両日も好天ではなかったが、紅葉が見ごろとなっており、利用者が増加したと考えられる。

(4) 10月29日(土)、30日(日)の実施結果

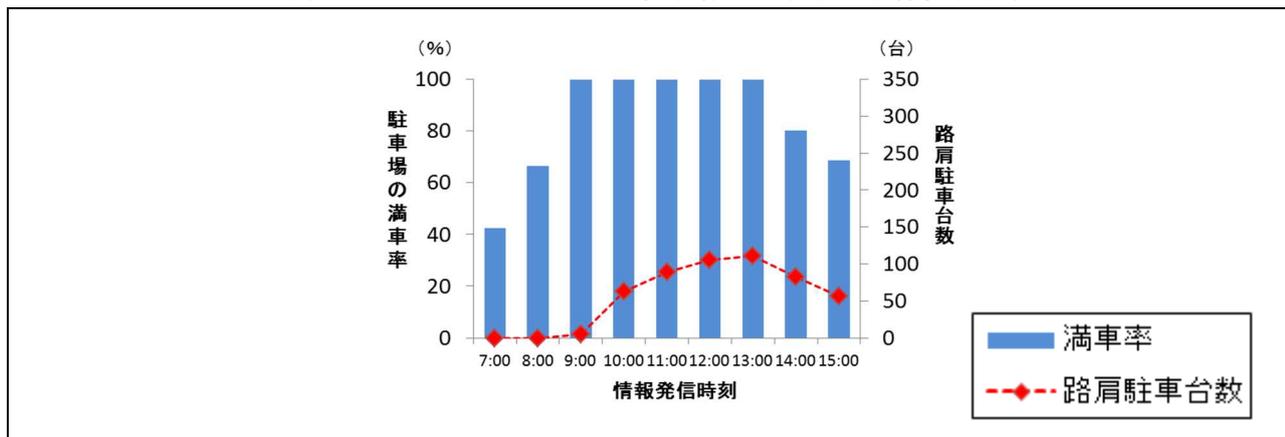
図表 10 10月29日(土)、30日(日)の駐車場の満車率と路肩駐車台数



- ・ 10月29日(土)はくもりで濃霧が発生し、風が強く気温が低かったものの、午後0時にかけて駐車場の満車率・路肩駐車台数ともに増加し、山上駐車場から600mの路肩駐車が発生した。
- ・ 30日(日)は、午前7時の調査開始時点で既に78台がドライブウェイの路肩に駐車していた。路肩駐車の先頭に駐車していた利用者によると午前2時の時点で満車となっていたとのことであった。以降、午後0時まで路肩駐車は伸び続け、本年度の調査においては最大の345台、2,400mに及んだ。前日は濃霧で気温が低く悪天候であったが、当日は快晴で気温も上がり、紅葉の見ごろも重なったことで利用者が集中して訪れたと思われる。
- ・ また、10日(月)より交通整理を担当していた警備会社が30日(日)朝より、別の業者に変更となった。不慣れなこともあってか、山側と谷側の両方に路肩駐車が発生していることが確認された。

(5) 11月3日(木)の実施結果

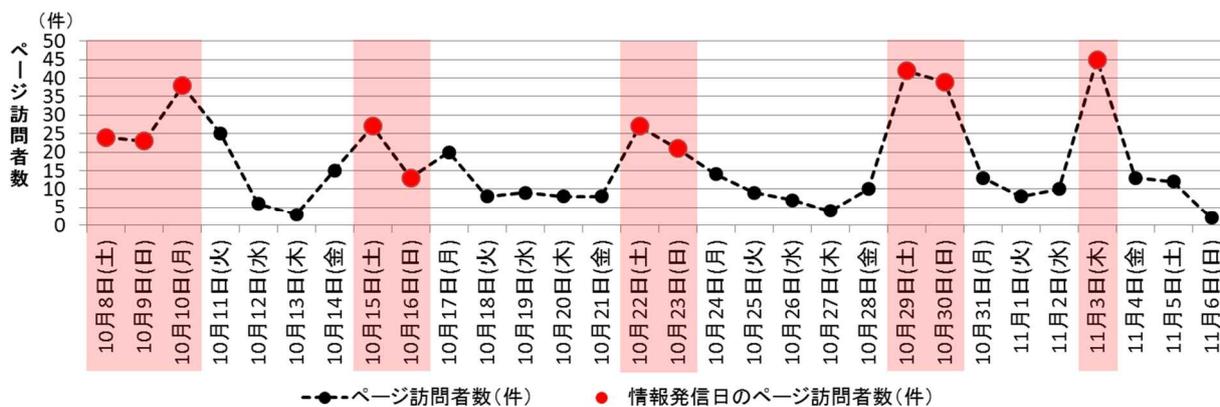
図表 11 11月3日(木)の駐車場の満車率と路肩駐車台数



- 11月3日(木)は午前9時に駐車場が満車となり、午後1時には111台がドライブウェイの路肩に駐車しており、距離は1,100 mに達した。気温が低かったものの好天で、紅葉も見ごろの時期が続いていたことから利用者が多かったと思われる。

3. 情報発信ページのアクセス結果と考察

図表 12 混雑状況情報発信ページの訪問者数の推移 10/8(土)~11/6(日)



※同一デバイスからの当日中のアクセスは1件としてカウント

- 混雑状況の発信を実施した土・日・祝日には訪問者数が増加する傾向がみられた。特に山上駐車場・ドライブウェイの混雑が目立った日には訪問者が多く確認された。
- リアルタイムで情報を更新していなかった平日などの期間でも、1日あたり10件程度のアクセスがあり、前週の混雑状況を参考に次の週末の旅行計画などに活用されていたものと考えられる。